第22回日本リーグ開幕

日本リーグ運営委員長　**山下　泉**（常務理事）

第22回日本ハンドボールリーグは9月20日に開幕、3月1日のプレイオフ決勝で終了する。今年度のリーグはこれまでと違い、あの熊本97男子世界ハンドボール選手権大会の大成功した後だけに、あらゆる面で責任は重大である。

日本ハンドボール史上最大のイベントで、その盛り上がりは、熊本県人はもとより、全国各地からファンが押し寄せ、20万人を越える観客動員となり、NHKTVを通じても世界最高のプレイに酔いしれた。その後だけに、当然のようにファンは、リーグ戦のプレイに対し厳しい目で観戦することは必至である。

リーグはアマであるが、プロと同様なプレイを期待され、それだけに個々の選手が自覚を持って一戦ごと真剣な戦いに挑戦することが責務である。

オルソン監督の指導効果である、体重増加や筋力トレを取り入れて、世界に通用する体力をつけ、よりコンタクトプレイをしなければ、リーグでも上位に残ることはできない。

今期も4名の優秀な外国人選手が新しく加入し、より一層国際化の波が押し寄せている。世界を代表する選手と戦うことにより、日本リーグの理念にある、世界選手権やオリンピックに通じる国際レベルの競技力がつくのである。満員の観衆の中で緊迫した試合を経験し、最後まで息の切れないプレイを期待したいものである。

熊本で実証したように、ハンドの面白さ、魅力は、華麗なテクニック、スピードそしてパワーを兼ねたプレイであり、他のスポーツと比較し「見るスポーツ」として十分魅了することが出来る。リーグ関係者や選手が一人でも多く、ファンを会場に足を運ばせる努力をすれば、必ずリーグの繁栄が約束される。「今、ハンドが面白い」この盛り上がりをいかにつなぐかがリーグの課題である。

協会だより

平成9年度第1回 全国理事会

日　時　平成9年6月14日(土)
13時〜16時15分
場　所　岸記念体育会館
504・505会議室
出席者　中澤専務理事、理事15名、参事8名、監事2名

議題1　平成8年度事業報告(案)
平成8年度事業報告(案)について、平成8年度事業計画に基づき、各担当より報告。

議題2　平成9・10年度評議員承認について
平成9・10年度全国評議員(候補)名簿を承認。

議題3　'97男子世界選手権大会終了報告並びに残務処理について
世界選手権熊本大会の概要について述べられ、大会は大成功裡に終了したことを報告。
世界選手権担当理事より、9位以下の順位決定方法について説明。
世界選手権時に開催のシンポジュウムについて報告。
日本ナショナルチームは15位で終了したことを報告。
フェスティバル大会が盛況に行われたことを報告。
ワールドドリームゲームが世界選手権優勝国のロシア、同3位のフランス、同4位のハンガリーと日本の参加によって行われ、意義ある大会となったことを報告。
報道関係について報告。
財務について、現在集計中であり、概ね予算通りに終わったとの予測。
世界選手権80試合のビデオ映像について、一般に販売し事業収入を得たいとの計画が示され、購入しやすい方法を計りたい。
大会運営報告書について質疑がなされ、組織委員会が作成するとの回答がなされた。また、ワールドドリームゲームを含めた報告書が必要ではないかとの意見に対し、纏める方向で検討するとの回答。
残務処理について、熊本事務局が10月1日に解散するので、日本協会としても10月1日をめどに整理をして、10月全国理事会に報告したいとの意向が述べられた。
これに関わり、11月をめどに日本協会の役職分担の見直しをしたいとの意向が示され、新委員は1年任期でお願いしたいことが述べられた。

議題4　平成8年度決算報告(案)
平成8年度決算報告(案)一般会計概要について説明がなされ、続いて特別会計について説明。
監査の結果適正であると認めるとの報告。

議題5　平成9年度第1次補正予算について
平成9年度第1次補正予算については、世界選手権に絡み特別会計の部分で関わるところが多く、現時点で補正が組めないことが説明。後日文書提案にて承認を得ることが求められ、了承された。

議題6　次期ナショナル男子監督選出について
12日開催の強化委員会で世界選手権並びにオルソン監督の評価がなされたことが報告された。次期ナショナル男子監督については、財源問題、マスメディアに乗ったムードを大切にする、などの意見を参考に、第1案としてオルソン氏にアプローチをする、第2案として他の外国人監督を検討する、第3案として日本人監督との線で、これを機会にメジャースポーツに発展する事を目標に、シドニーオリンピックに対しての延長戦上で、理事会の意見もふまえて、17日の強化委員会で検討することが述べられた。
次期監督の決定については常務理事会に一任。

議題7　IHF協会移籍に関する規程について
「連盟間の移籍に関する規則」について、2月理事会の決定に基づき翻訳作業を終えたことを報告。理事会の承認を得た上で、関係各方面に配布したいことを報告。
これに関して、国内でも移籍に関するルール作りが必要ではないかとの意見が述べられ、対応していきたいとの回答。

議題8　今年度国民体育大会参加資格について
国民体育大会開催基準要項細則の一部改訂に伴い、本年度より日本国籍を有しない者であっても参加することができることについて、資料が配布され説明。
これに関して関係各方面へ周知徹底をはかり、参加資格については、各都道府県体協に確認を取るように指導いただきたいことが述べられた。

議題9　全国大会への協会派遣役員について
平成9年度全国大会日本協会役員派遣について、予定表が提示され、一部修正の上承認。

報告事項

(1)平成9年4月開催の日本リーグオーナー会議に関して
平成9年4月開催の日本リーグオーナー会議に関して、世界選手権が終わって、新たな組織作りをし、財源の確保に努め、日本ハンドボール協会の21世紀に向かっての基本方針を打ち立て検討するとの報告。これに関して、年内を目途に検討を進めていきたいと述べられた。
あらためて、世界選手権の御礼のご挨拶と協力依頼をする。世界選手権のための特別登録金を強化登録金とし、協力を得たいことが述べられた。
財務として、財源の確保をして積極的な運営をするため、登録金の値上げを検討していきたいことが述べられた。
強化が大きな柱であるが、普及、広報を含め体制作りが大切であるとの意見が述べられた。

(2)平成9年夏期日本協会主催大会要項
以下の平成9年夏期日本協会主催大会の要項が配布され、補足説明がなされた。
I、ジャパンオープントーナメント

ジャパンオープントーナメントの参加申し込み用紙の役員欄について、1名しか記入欄がないので、別用紙にて提出していただきたい旨、各ブロックへ連絡依頼がなされた。また、間に合えば神奈川県より用紙を送付する。

II、東・西全国クラブ選手権大会

全国クラブ大会のケイリンマークについて質疑なされ、東西ともケイリン補助事業であるとの回答。

III、ジャパンカップ並びにヒロシマ国際大会

'97ジャパンカップについて、8月29日(金)より31日(日)まで日本ハンドボール協会60周年記念行事の一環として開催することが述べられた。男子は、日本ナショナルチーム、日本ナショナルBチーム、SCマグデブルグ（ドイツ）、尚武（韓国）の4チーム、女子は日本ナショナルチーム、日本ナショナルBチーム、VfBライプチヒ（ドイツ）、中国ナショナルチームの4チームで開催されることが報告され、観客動員、広告協賛について協力依頼。

また、この大会の前後に国際親善試合が行われることも報告された。

ヒロシマ国際大会が、7月24日(木)より27日(日)まで、日本女子ナショナルチーム、チェコナショナルチーム、中国ナショナルチーム、イズミの参加によって行われることが報告、観客動員について協力依頼。後援団体にJOCが追加された。

(3)その他

平成10年度ジャパンオープントーナメント日程について、8月6日(木)より9日(日)の届け出があったことを報告。

2008年オリンピック開催地候補決定について、2001年東アジア大会について、バンコクアジア大会について報告。

ルール改正について、改正のアナウンスを8月頃よりする必要があるのではないかとの意見があり、これに対し、オーストリーでチーフレフェリーシンポジュウムがあり、ここで正式に伝達された後に、アナウンスしたい旨回答。

6月度(2)常務理事会

日時　6月28日(土)
10時30分～12時

場所　日本体育協会
504号会議室

出席者　中澤専務理事、
常務理事8名、参事1名、
事務局2名

(1)確認報告事項

1、第11回女子ジュニア世界選手権選手団団長に佐野監事を了承

2、JOC在外研修員の認可報告

3、JOC・日体協による12歳から16歳までを対象とした日韓スポーツ交流事業について報告。8月より9月初めに実施することで準備に入った。

4、JOCジュニアオリンピックカップ予算について、大会補助金について増額申請を報告。再度協賛企業に折衝し、結果が得られない場合強化費で対応することで了承。

5、16歳未満のチームを「アンダー16」として次年度より予算化して対応することを報告。

(2)男子ナショナル次期監督について

オルソン氏に対する監督継続要請について経過報告。男子ナショナルチームスタッフについて提案がなされ、日本人監督、外国人コーチ案を中心に外国人にコーチより監督適任者がいれば外国人監督とする含みで決定。候補者を選出し検討することで了承。

また、'97ジャパンカップまでに監督が決定できない場合は、前スタッフで試合の指揮を執ることで了承。

(3)世界選手権ビデオ国内販売について

世界選手権ビデオについて、制作・販売に関わる業務をスポーツイベント社に委託し実施することの報告があり、推進することで了承。権利関係についての確認を関係担当者で検討することとした。

(4)その他

役員賛助会年会費改定について了承。

平成9年度第1回評議員会

日時　平成9年6月28日(土)
13時～16時10分

場所　日本体育協会
504・505号会議室

出席者　評議員出席23名、
執行部出席者、渡邊副会長、
中澤専務理事、理事11名、
参事、監事各1名

議題1　平成8年度事業報告

平成8年度事業報告について、以下の報告が平成8年度事業報告書に基づき、各担当より報告。

議題2　平成8年度決算報告

平成8年度事業決算報告書に基づき、一般会計概要並びに特別会計について説明。審判委員会の決算について補足説明。監査の結果適正であると認めるとの報告。

議題3　平成9年度第1次補正予算について

平成9年度第1次補正予算については、世界選手権に絡み特別会計の部分で関わるところが多く、現時点で補正が組めないことが説明された。後日文書提案にて承認を得ることが求められ、了承された。

日本協会財政は健全であるかとの質疑がなされ、世界選手権の決算が終わった段階での状況によって変わってくる、健全かどうかということについては、内容から言えば虚弱な体質である、今後、フレンドシップの継続、機関誌の値上げ、登録金の値上げを検討し、財源がないので事業ができないということのないようにしたいとの回答。

議題4　'97男子世界選手権大会終了報告並びに残務処理について

観客動員の学校観戦についてＩＨＦが感心していたこと、オールスターチーム並びに得点王について報告がなされ、順位決定について説明。

報道関係について報告。

学校動員が家庭観戦へとつながったこと。

興縄熊本県協会会長より、見ていただいたことが成功につながった、これから熊本から全国へ、ハンドボールを核としていろいろな人からスポーツの支持を受けるようにしたいと述べられた。

熊本のみなさん、日本リーグのオーナーに感謝したい、この先どうするかが大切と考えている、との発言があった。

収支について説明。

ナショナルチームの160日間の合宿について、順位について、得点についてはポスト藤井選手の得点の多さが成果であったなどの報告があり、各地での合宿等について謝辞が述べられた。

ルーマニアより招待したクンスト氏の死亡については報告があり、遺体の返送については光島、植村両氏のご協力を得たこと、また、ルーマニアハンドボール協会より謝辞連絡があったことを報告。

世界選手権における各地の温度差について観客の分析をしてほしいとの要望があった。これに対し、集計中であり早急に報告するとの回答。また決勝戦については県外が多かったとの発言があった。

シドニー対策について質疑があり、これに対し、今の選手が中心となっていける、今後指導普及とタイアップして、若い選手の発掘育成をしたいとの回答。

議題5　次期ナショナル監督選出について

経過説明がなされ、これからオルソンの作ったものをベースに日本のスピード、テクニックを加味していきたい、日本人監督、外国人コーチ、日本人コーチの案をベースに外国人監督を考えていきたいとの報告。

議題6　ＩＨＦ協会間移籍に関する規程について

2月理事会の提案通り、翻訳検討したとの報告。また、国内の移籍に関しても早急に決定する必要があるとの意見が述べられた。

報告事項

(1)選手強化関連

女子世界選手権大会予選において出場権を獲得。女子については今後シドニー対策を第一優先とし、中央アジア対策を採っていく。

女子ジュニア世界選手権の団長を佐野監事が担当。選手について報告。

(2)主催大会要項

ジャパンオープントーナメント、全国クラブ選手権大会東地区・西地区、ジャパンカップ各要項を配布。

ジャパンカップについて、参加予定国の中国について交渉中であること、だめな場合は韓国と交渉することを報告。

ジャパンカップ日程と日本ナショナルチームの監督について質疑があり、野田理事より、近圏のブロック大会の日程を確認の上決定したが今後配慮する、ナショナルチーム監督は決定しない場合、代行で行うとの回答。また、ルールはＩＨＦルールで行うことが確認された。

ヒロシマ国際大会について説明がなされ、タラフレックスを利用する予定であることを報告。後援にＪＯＣをとの発言に対し、検討するとの回答。

平成9・10年度評議員名簿について、全国理事会で承認を受けたことを報告。

(3)その他

賛助会協力依頼

フレンドシップ'97報告

東アジア大会実施予定競技種目について、ハンドボール競技の実施の意思は確認できたので、担当と常務理事で検討していく。

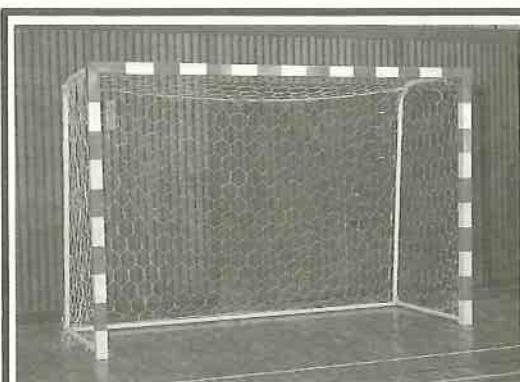
世界選手権で使用したタラフレックスについて、大会後はオムロンと大崎電気で保管することになったとの報告。また、今後施設を作る場合は考慮に入れておいてほしい旨発言があった。

世界選手権ビデオ作成、販売について報告。

世界選手権写真集が熊本日々新聞より発売になることを報告。各都道府県においての連絡依頼。

評議員の出席率が悪い、日本協会主催行事を評議員会開催日にぶつけるのはどうしてかとの質疑があった。これに対し、評議員会の日程は最初に決定している、主催行事参加者について調査するとの回答。また、手続き進行にご協力いただきたいとの依頼。

国体の出場枠について、ブロックに所属する県数によって割り当ててほしい旨意見があった。

国体時の全国理事長会議開催について質疑があり、検討中であるとの回答。

全日本男子チーム監督蒲生晴明氏が復帰!!

熊本での世界大会を終えた全日本男子チームの監督には、再び蒲生晴明氏が復帰、指揮を取ることになった。

蒲生監督は、就任早々、以下のようなコメントを寄せてくれた。

「先般の熊本での世界選手権大会での男子全日本チームの活躍が、まだ脳裏に焼きついていることと思われる。

今回も世界選手権大会のメンバーが中心の布陣で臨む。

次のシドニー五輪を目標にオルソン前監督のパワーハンドボールに速攻を、技をプラスして、世界選手権と同様の感動が出せるように全力を尽くす。

M^2はMake Major、S^2はSomething Specialの略

メジャーの地位を得て、実力を備え見る人に感動を与える」

蒲生監督の復帰による、新たなる効果を期待するところである。

【蒲生監督のプロフィール】

１９５４年４月５日生まれ。

１９７７年３月、中央大学を卒業、４月、大同特殊鋼に入社。

１９８５年４月、大同特殊鋼監督就任。

１９９１年11月、全日本男子チーム監督就任。

１９９５年10月、全日本男子チーム監督退任。

〔国際試合〕

モントリオール、ロサンゼルス両オリンピックに出場。

世界選手権大会出場３回。

アジア選手権大会出場３回、金メダル２回、銀メダル１回。

アジア大会出場１回、銀メダル。

〔国内試合〕

日本リーグ／優勝８回。

全日本総合選手権大会／優勝２回。

国民体育大会／優勝４回。

全日本実業団選手権大会／優勝６回。

〔個人記録〕

１９７８年スペインカップＭＶＰ。

第９回世界選手権大会得点部門第３位。

日本リーグ通算６１１得点。

日本リーグ得点王６回。

日本リーグベストセブン８回。

（全日本監督歴）

１９９２年第１回東アジア選手権／金メダル。

１９９３年第７回アジア選手権／銅メダル。

１９９４年広島アジア大会／銀メダル。

１９９５年世界選手権大会出場。

１９９５年第８回アジア選手権／第４位。

第3回ヒロシマ国際ハンドボール大会を終えて

広島県ハンドボール協会副理事長（広報担当）　山本　一

　1994年に広島市において開催された第12回広島アジア競技大会のメモリアル大会として翌年から広島県・広島市の支援のもと国際親善大会として開催されている大会で今年は3回目となります。第1回目は男子、第2回目の昨年は女子でいずれも全日本ナショナルチームの強化の一環として開催されています。特に昨年は当時の世界最高峰といわれアトランタオリンピック3連覇を狙っていた韓国ナショナルチームがオリンピック開幕1ケ月前という大切な時期に来日し、大会を盛り上げてくれたのは記憶に新しいところです。

　そして迎えた今年の大会ですが順序からいけば男子の番でしたが、何せ5月の熊本での男子世界選手権のすぐあとの大会でもありますし、熊本での盛り上がりはアジア選手権大会、アジア大会といったビッグなゲームを経験している我々にとって充分予測出来、熊本大会以上の参加チームは無い訳で、第3回大会は昨年に引き続き女子の大会ということになりました。今年の11月末から12月中旬までドイツで女子の世界選手権大会も開催されるし、全日本女子の強化にも役立つものと考えての大会でもありました。外国チームの招聘にあたっては全日本監督樫塚正一先生とも相談し、チェコ及び中国のチームということになりました。

　イズミは広島県、広島市からの補助金を受けての大会ですし、昨年度の日本リーグ優勝チームということで観客動員という観点からもこの上ないことでした。

　大会会場は広島市東区牛田新町の東区スポーツセンターでした。ここは1991年のアジア選手権大会、1994年のアジア競技大会のメイン会場でもあったところで、毎年日本リーグ等ハンドボールの試合が数多く行なわれるところです。

　大会は7月24日、26日、27日の

全日本対イズミ

3日間行ないました。試合結果は別表の通りです。

7月25日は試合は休みで外国チームには市内の平和記念公園、原爆資料館の見学等を計画していましたが、北京チームは我々はハンドボールの試合に来たのであって観光でなく練習をさせてくれとの強い要望等もあり急拠日新製鋼にお願いして体育館を借用し練習をさせたりしました。チェコチームは平和公園や宮島の観光をしました。北京選抜チームは今年は4年に一度の全国大会（日本でいう国体）が10月に開催されるそうで、各都市間の競争は非常に激しいものがあるそうです。

チェコのHC・LR・コスメティックHMオストラバというクラブはコスメティック社がスポンサーでオストラバというところに所在するチームで国内ではチャンピオンチームだそうです。

この大会の参加直前には未曾有の大洪水に見舞われ、大会参加が危ぶまれたそうですが、予定通り来日してくれ、胸をなでおろしたものでした。

両チーム共当初の招聘状には23日来広、28日離広とあったのですが、日本には長く滞在するスケジュールを要求してきました。北京チームは熊本のオムロンに、またオストラバチームは大崎電気工業、ジャスコ、ブラザー工業、シャトレーゼに引き受けていただき、改めて感謝する次第です。遠方より来日した外国チームですし、全国のチームが連携してたくさんの国際ゲームを行なうのも国内チームにとってはとっても良い経験になるのではなかろうかとも思っています。招いたところでのスケジュールをこなすだけでなく幅広く呼びかけていくのも、今後の課題としてよいことであろうと思っています。

オストラバ対北京選抜

イズミ対北京選抜

休日を過ごす北京選抜…宮島にて

休日を過ごす北京選抜チーム…平和公園原爆ドームの前で

試合の結果については私共が批評すべきことではありませんが、全日本チームが攻守の主力選手を欠いていたとはいえ、今少し元気のなかったのは気になるところでした。今秋の女子世界選手権への出場も決まっていますし、熊本での男子に引き続きドイツでの日本選手の活躍も期待します。

今回は招待試合として湧永製薬対日新製鋼の試合を国体成年男子最終選考会として行ないました。高校招待試合として愛知県より東海女子高校を招き地元の山陽女子と対戦していただきました。

最終戦のハーフタイムには会場である東区スポーツセンターが行なっている小学生のハンドボール教室の生徒達が1ケ月間の訓練の成果を見せてくれました。生徒達は参加記念に湧永製薬の中山剛選手、イズミの林五卿選手のサインボールをもらって大変喜んでいたのが印象的でした。

またこの大会には立会人としてIHF・PRCのメンバーである韓国の朴千祚氏が来られ、大会運営、審判割り当て等のご指導をいただきました。

韓国から、オリンピック・世界選手権優勝監督の鄭亨均氏、林圭夏氏のペア、日本は、後藤登氏、清水宣雄氏及び仲田稔氏、植村彰氏の両ペアの3ペアでした。

この3ペアの国際レフェリーには招待試合まで笛を吹いていいただき誠に感謝に耐えません。

最後に各チームの選手達はお世辞とはいえ、また広島に来たいといって帰ってくれたことは大会運営に携ったものとして喜びとするところです。

最後にこの大会を開催するに当り、広島県・広島市、協賛いただいた各社、報道各社、日本協会はじめ多くの関係者にご支援いただいたことに対し厚くお礼申し上げます。

【試合結果】

■第1日目（7月23日）

北京選抜28（13－12 15－15）27全日本
イズミ26（14－12 12－9）21HC・コスメテック・オストラバ

■第2日目（7月26日）

北京選抜29（14－9 15－9）18HC・コスメテック・オストラバ
イズミ22（14－7 8－11）18全日本

●招待試合（一般男子）

湧永製薬26（13－8 13－11）19日新製鋼

■第3日目（7月27日）

北京選抜28（16－11 12－10）21イズミ
全日本26（12－9 14－9）18HC・コスメテック・オストラバ

●招待試合

東海女子高16（9－6 7－9）15山陽女子高

【順位】

1位北京選抜　2位イズミ　3位全日本　4位HC・コスメテック・オストラバ

第25回コパインテラムニア大会

■第1戦
7月5日　午前8時30分開始
中華台北　15－14　日　本

■第2戦
7月6日　午前11時開始
日　本　20－11　ポーランド

■第3戦
7月6日　午後3時開始
日　本　30－13　デンマーク

■第4戦
7月8日　午後6時45分開始
日　本　22－8　スペイン

■優勝決定戦
7月11日　午後7時開始
日　本　32－22　中華台北

【総評】

外国選手との対戦の少ないジュニア選手にとって、今回のテラモ大会の参加はスタッフ、選手にとって多くのゲームを経験する貴重な大会参加であった。

第1戦から4戦までのグループでの戦いは20分ハーフのゲームであり、特に第1戦の中華台北戦には早朝8時30分からのゲームで体育館開館が8時20分という環境の中、アップも出来ない状態で試合が開始される。残念ながら14－15でペースのつかめないまま終了。その敗戦での反省から練習・他の試合に日本らしい展開ができはじめ選手達の闘争心も高まってきた。幸いにも逆ブロックに不参加のチームがでて、もう一度中華台北と優勝を争うチャンスがおとずれ(30分ハーフ)第1戦目の反省が生かされ終始日本ペースでゲームが展開され、1982年以来2度目の今大会の優勝を飾ることが出来ました。第3戦・優勝決定戦では中学生で初の国際試合出場の谷口尚代選手が6得点をたたき出す活躍を示し、日本女子ハンドボール界待望のロングシューターが大器の片鱗を見せつけた。何より初出場にもかかわらず緊張の2文字がまったく感じさせない活躍であった。この大会はジュニア選手にとっては外国での生活面・戦術面等総てに貴重な経験を得ることが出来、来る世界選手権に向け弾みをつけて今後の活動に望みたい。

イタリア遠征に参加して

谷口　尚代

彦根で合宿中の7月30日、日の丸のついた赤と黄のユニフォームをいただきました。私も日本代表なんだという意識が高まり、とてもうれしかったです。そして、さらにやる気が出てきました。私はこの遠征でとにかく1点決めるのが、目標でした。1点決めるといっても、試合に出させてもらえるかどうかも分からないのに、みんなの分のシュートも決めたいと思っていたから、とても不安でいっぱいでした。

そして、イタリア。テラモという街は、水もおいしいし、街の人達もとても親切でした。街の風景は違っても、なんとなく自分の住んでいる街に似ていて安心していられました。それに、何といっても街全体がハンドボール一色というのが私を驚かせました。

そして、いよいよ試合が始まりました。初戦はベンチに入れませんでした。とてもくやしかったけれど、そのくやしさがあったためか、次の日のデンマーク戦は、後半から、攻撃に出させていただける事になり、うれしいのもあったけれど、1点決めなきゃという緊張感でいっぱいでした。そして、1回目の攻撃の時、自分にボールがまわってきたので、思い切ってシュートを打ったら、入ってしまいました。驚きとうれしさ、そしてホッとして何とも言えない気分でした。でもそれは、自分の力ではなくてほとんどは、先輩方が私に打つチャンスを作ってくださったからでした。だから、今の自分に満足していません。まだまだ練習してディフェンスを引きずっててもシュートを打てる様になりたいです。

今回、私は本当に貴重な体験をする事が出来ました。一番は、やっぱりシュートが入った事です。これで少しは自信がつきました。その他、テラモというハンドボール一色の街にこれた事、すごい先輩方とプレイ出来た事など、そう簡単に出来る事ではありません。将来は、世界に通用するプレーヤーになる事が、私の夢です。そのためにも、これからのジュニアでの活動を一生懸命やっていきたいです。でも、その時は、自分だけの力じゃなくて、色んな方の協力があるという事を忘れず、やっていきたいと思います。この様なチャンスを与えて下さった方々、スタッフの方々本当にありがとうございました。これから、苦しい事があっても、あのテラモでのシュートを思い出して頑張っていきたいです。

第11回女子ジュニア世界選手権大会

8月5日〜10日／コートジボアール

日本、大健闘 決勝トーナメントに進出

■7月29日（予選リーグ）
日　本　23―19　中　国

前半、10分過ぎまで一進一退の攻防が続き6―4と2点リードする。その後10分間ミスが続き、得点が取れず失点を重ね4点リードを許す。残り10分を切ってDFで頑張り、速攻が決まり2点差で折り返す。

後半、立ち上りからDFでよく足が動いて5連続得点で3点リードしゲームを優位に進める。中盤3連続失点で同点とされるがその後、相手がミスを重ねリードを奪う。20分過ぎてから少しバテ、ミスを重ね、失点を許すが大事なところでGKが頑張り好セーブを重ね、最後は、スカイプレーを決めて4点差として勝利を収める。

相手の7mを3本止めるなどGKを含めDFでの頑張りで大きな1勝を挙げることができた。

テラモ（イタリア）での優勝の勢いがそのまま続いているような試合だった。

■8月1日（予選リーグ）
ロシア　40―20　日　本

中国戦の調子をうまくつなげていければと試合に臨んだ。先取点こそ取れたがその後相手のパワーに圧倒され失点を重ねる。攻撃でも相手の高い壁を打ち破れず、DFでカットされ速攻にもって行かれた。

前半、途中、少しDFでリズムがでて反撃するがミスが出て相手に得点を許した。後半も同じような展開となったが、DFで少しリズムを取り戻し加点するが、相手の大きさ、高さ、パワーで押しきられた。体格の違いを痛感したゲームであった。大きさ、高さに圧倒され多くの退場者が出たのも大きかった。

■8月3日（予選リーグ）
スロバキア　27―26　日　本

試合は、前半、リズムよく攻撃し得点していく。DFでも相手の攻撃をよく守ってリズムをつかむ。相手の長い時間の攻撃でリズムが取りにくいところをDFで頑張り、攻撃でクィックなシュート、動きで得点する。退場者が出た時に得点を取られるが、動きがよく、2点差で折り返す。後半、出足が良く得点するが、その後急に足が止まり動きがなくなったところでミスが出て同点とされる。一進一退でゲームが進むが終盤3連続失点で3点リードを許す。速攻が決まり追い上げるが、残り30秒でシュートを打つがバーに当り、1点差で敗れた。

結果、3戦1勝2敗となりC組3位となる。

【予選リーグ成績】

◎Aグループ
①ルーマニア
②ポルトガル
③韓国
④コートジボアール

◎Bグループ
①デンマーク
②フランス
③ハンガリー

④スロベニア
⑤アンゴラ

◎Cグループ

①ロシア
②スロバキア
③日本
④中国

◎Dグループ

①ノルウェー
②トルコ
③ブラジル
④スイス

■8月5日（決勝トーナメント1回戦）

日　本　29―25　トルコ
（C組3位）　（D組2位）

前半、立ち上りから一進一退の攻防が続き、10分過まで同点で試合が進む。その後、ミスなどで相手に6連続得点を許す。20分過得点し、5点差とするがすぐに得点され、6点差となり、このまま行くかと思われたが、作戦タイムの後相手の動きが悪くなったところを、動きよく攻めてDFから速攻パターンで得点を重ね、OFでも好プレーが出て6連続得点で同点として折り返す。

後半、立ち上りからリズムよく足が動き、DFでよく守って相手のミスを誘い、得点を重ね10分までに7点差をつける。その後、退場者が続き失点を許し2点差まで詰め寄られるが、GKの好守があり、又、5人で得点を取ったりでもちこたえた。残り3分を切ってから、2連続得点で逃げ切った。ベスト8進出!!

■8月7日（準々決勝）

ルーマニア　25―18　日　本

前半、出足お互いにかたく動きが悪く15分まで3―3と互角で戦った。その後ミスが続き4連続失点でリードを許すが、DFで頑張って、セット攻撃で得点し、1点差で折り返す。

後半、出足が悪く足が止まってリズムが悪くなり、DFでも相手のエースにロングで連続得点を許しリードを許す。その後5点差まで詰め寄るが今一本が決まらず7点差で終了する。

DFでよく頑張ったと思う。大きいDFを割ることができなかったのがいたかった。前回の優勝国によく頑張った。

■8月8日（順位決定戦1回戦）

韓　国　31―22　日　本

前半、出足から一進一退でゲームは進み、残り5分を切って同点としてリードを奪うところでミスが出て3連続失点で3点リードされて折り返す。後半、出足が悪く5連続失点で試合の主導権を握られてペースは韓国の方にかたむき、リードも広げられて後半ミスも多く出て9点差で敗れる。

■8月10日（7・8位決定戦）

スロバキア　28―27　日　本

前半、出足からリズムがよくDF、OFができ加点していく。20分過に4点差とするが、足が止まりミスが続き逆転され2点差で折り返す。

後半、出足が悪く失点を重ね、点差を広げられる。終盤追い上げるが、シュートミスが出て同点、逆転ができず、1点差で敗れる。

予選リーグと同じような展開となった。結果8位で終了。

■5・6位決定戦

韓　国　32―30　ポルトガル

■3・4位決定戦

ルーマニア　27―26ノルウェー

■決勝戦

デンマーク　29―26　ロシア

【最終順位】

1位　デンマーク
2位　ロシア
3位　ルーマニア
4位　ノルウェー
5位　韓国
6位　ポルトガル
7位　スロバキア
8位　日本
9位　フランス
10位　ハンガリー
11位　トルコ
12位　ブラジル
13位　スロベニア
14位　中国
15位　スイス
16位　コートジボアール
17位　アンゴラ

世界大会'97 監督のひとことから

指導委員会では、「世界選手権・熊本97」において試合後に開かれるプレス向けの共同記者会見で、試合直後の興奮冷めやまない監督たちの印象深いひとことを集めてみました。あまり取り上げられない予選リーグからの監督の声をお聞き下さい。

●5月17日
アイスランド24（14−10／10−10）20日本

オルソン監督（日本）
日本の選手たちは1万人もの観客の前でゲームしたことがなかったので緊張しているようだった。ゲーム開始直後に続けて得点されてしまったのが敗因だと思う。アイスランドとの大きな違いはメンタル的なところにあったと思う。アイスランドのディフェンスに精神的に押されてしまったために得点できなかったようだ。ただ、60分間大きくはなされることなく追い続けることができたのは評価できる。

●5月18日
フランス25（12−10／13−11）21イタリア

コンスタンチーニ監督（フランス）
世界選手権で第1戦目を勝つということはとても重要であり、また個人的にイタリアをとても警戒していたので今日の勝利はとても嬉しい。心配していたとおり、イタリアはとてもよいゲームをしたと思う。フランスは新しいチームなのでもっと経験を積む必要がある。

チェルバル監督（イタリア）
フランスに誉めてもらえて嬉しいが、むしろ勝ちたかったのが正直なところである。フランス同様、イタリアも経験の少なさは同じだと思う。しかし、世界選手権に参加できたことはイタリアにとって大健闘したと言える。また、私のコーチとしての態度はダイナミックだが、コーチも試合の一部を飾るという意味で私も健闘した。

●5月18日
ポルトガル26（13−7／13−11）18ブラジル

リーゴロ監督（ブラジル）
日本から遠く離れたブラジルから来て選手たちに緊張が見られた。世界の中でポルトガルは強いチームであるが、それほど悪い試合ではなく、思っていたほど差がついたわけでもなかった。それは、両チームとも緊張していたように思う。選手の失敗は監督である自分の失敗。今日の試合で選手にとっても自分にとっても色々なことが勉強になった。

●5月18日
スペイン32（13−11／19−10）21チュニジア

ブラヒム監督（チュニジア）
どちらのチームもゲームに対して何らかの結果の予想はしていたと思うが、両チームの後半の身体的な差がゲームを決定したと思う。
―「ゴールキーパーを変えなかったのはなぜか」という質問に対して―
まだ第1戦だし、チームも大会に慣れなくてはいけないので、一種の試練です。

●5月18日
ロシア31（17−9／14−8）17キューバ

マクシーモフ監督（ロシア）
キューバチームは昨日来日したばかりであるにも関わらず今日の成績はロシアの本来の力を発揮しているものではないと思う。しかし今日のロシアとキューバ両チームの健闘ぶりは近代ハンドボールの見本とも言えるものであると思う。オリンピックの前はヨーロッパ選手権で試合を経験していたし、対戦チームのこともよく知っていた。しかし、オリンピックでは他のチームの選手もよく活躍し、ロシアチームは他チームに対して計算違いをしていた。
今大会ではせめて準決勝には入りたいと思っている。その後はゆっくり様子を見ていきたい。

●5月20日
韓国27（11−18／16−8）26フランス

コンスタンチーニ監督（フランス）
今日の韓国チームのように7～8点差を縮めるようなゲームを今後フランスチームもしていきたい。ハーフタイムの間に韓国の監督がどんな指示をしていたのかが興味がある。フランスは良いプレーをしているが、まだ1つのチームになっていないように思う。とにかく後半の韓国チームは素晴らしかった。

キム監督（韓国）
フランスが前回の優勝チームだけに今日の結果は嬉しい。10分が経過した頃からもしかしたらいけるかもしれないという手応えを感じた。前半は点差が開いたが選手があきらめないようにということだけを心配していた。
―「コンスタンチーニ監督も聞きたがっていたハーフタイムの指示は？」という質問に対して―
前半のポストプレイヤーのミスを指摘しただけです。13番のユンはドイツ、ゴールキーパーはアイスランドでプレーしているのでヨーロッパの素晴らしいプレーを知っているから成功したと思う。

●5月21日
イタリア19（10−9／9−10）19ノルウェー

チェルバル監督（イタリア）
―「残り8秒のタイムアウトで円陣を組んで全員で何かを唱えているように見えたが」という質問に対して―
8秒の中で「1、2、3、…」と頭の中で数えるようにみんなで「1、2、3、…」と繰り返し言わせた。チームは8秒間はまだ生きているんだと選手に言い聞かせた。フランスといい試合をしたのに今

日勝てなかったのはチームが若く経験不足だと思う。

●5月21日

フランス24（12－8 12－12）20アルゼンチン

コンスタンチーニ監督（フランス）

おそらくアルゼンチンの監督は今日のゲームに満足していると思うが、反対に私はまったく満足していない。今日のフランスチームは基本的に質に欠けていた。アルゼンチンは勢いがあるので得点されないためには強い気持ちを持ってディフェンスしなければならなかった。しかしながらその基本となる「連帯」と「器用さ」に欠けていたようだ。今のフランスチームを修正するにはプレーヤーの中から修正しようとする気持ちが出てこないと修正は成功しない。今のプレーヤーの頭の中は何かにブロックされているようだ。明日は試合がないので熊本城を見学に行き、サムライ精神が彼らの中に入り込むことを願うよ。

●5月22日

スウェーデン36（21－9 15－12）21韓国

ヨハンソン監督（スウェーデン）

今日の試合は1994年ヨーロッパ選手権でロシアに10～11点リードしたときと同じようなゲームだった。韓国チームはスウェーデン12番のゴールキーパー、ゲンツエル選手に初めてあったはずだと思う。ハンドボールで勝つためにはよいゴールキーパーがいることが大切であり、その準備は十分にしてきた。韓国に何が起こったかはわからないが、最後まで今日のように戦えることを望んでいる。

●5月25日

韓国27（12－9 15－13）22イタリア

キム監督（韓国）

イタリアはスウェーデンやフランスを相手にいいゲームをしていたので何度もビデオを見て分析をし、警戒していた。イタリアに勝つためにはディフェンスを強化しなければいけないと思い、今日は3：2：1に変えた。

チエルバル監督（イタリア）

イタリアチームは昨日までも大変いい試合をしたが、今日はトーナメントに残れるかどうかが決まることもあり、大変感情的になっていたし、神経質だったと思う。今日のゲームは心底勝たなければならない試合だったにもかかわらず選手たちはいつになく集中していなかった。このようなゲームは実践的に、そして冷静にゲームしなければならない。

しかし私はイタリアチームを誇りに思っているし、誇りをもってイタリアに帰ることができる。それはこの世界選手権でイタリアというチームの良いところをみなさんに見せることができたから。また、それができるイタリアチームは強いチームだと思う。

―「イタリアチームは今大会で大変評価されていますが選手に言い聞かせていたことは？」という質問に対して―

まず日程を受け入れ、それを恐れないようにすること。そして練習を積めばよい試合ができると言うこと。

最後に日本のみなさんへ…SAY ONARA JAPONE

●5月25日

フランス29（12－14 17－12）26スウェーデン

コンスタンチーニ監督（フランス）

今日の試合には2つの目的があった。1つはブロック1位になるのでとにかく勝つということ。そしてもう1つはフランスチームの力を測るということ。スウェーデンとは対戦することも多く、いつもそこでチームとしての課題ができる。わたしにとってはこちらの方が大切だった。今日の試合では2つとも目標達成ができて満足している。

―「日本と対戦することが決定したが？」という質問に対して―

開催国と対戦することはあまり嬉しいことではない。日本はだんだん良くなってきている印象を受ける。フランスと日本のゲームスタイルを考えると、攻撃の激しい見応えのあるゲームになるであろう。

ヨハンソン監督（スウェーデン）

5点リードしていて本来はこれで負けるはずはないのに今日は今まで1番良いフランスチームと戦ったように思う。ディフェンスは6：0から3：2：1にしたがうまくいかず、戻すことになってしまった。今後の試合は成功するよう、戦いたい。95年の世界選手権でのフランスチームは2ゲーム落として優勝したのだから、何が起こるかわからない。

●5月27日

チュニジア14（5－12 9－8）20ロシア

マクシーモフ監督（ロシア）

今までの世界選手権で一番激しいゲームだった。前回の世界選手権でのチュニジアが大変良かったので、大変手の込んだ戦術をロシアは起用した。今日のゲーム前にも警戒するように選手には言ったが中にはヨーロッパ選手権で自信を持ったままの選手がいたようだった。

チュニジアの戦いは良かったと思う。ゴールキーパーのラフロフとディフェンスの良さがなければ今日の勝利があったかどうかはわからない。

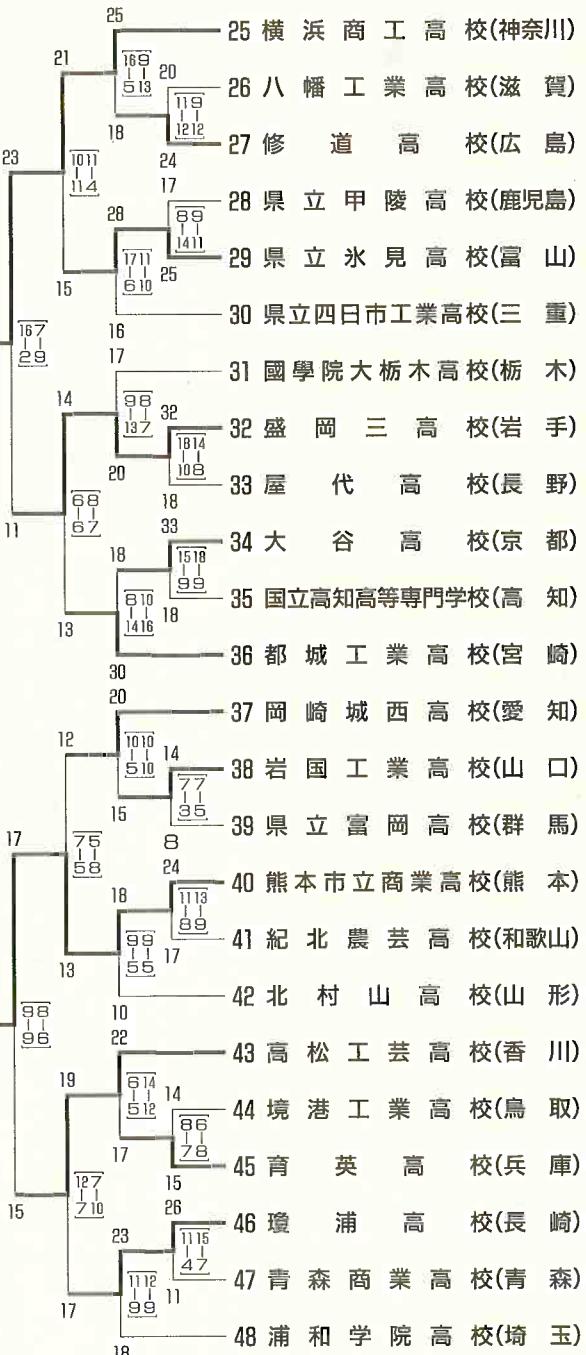
共同記者会見ということもあり、なかなか本音が出てこないこともありましたが貴重なお話を聞くことができて嬉しく思います。記者会見は会場によって雰囲気も違い、モロッコチームのブハッチイウイ監督は「11番は私の弟です」と話し始めたり、今でこそ有名になったスペインのプリンセスの婚約者ウンダンガリン選手はチームメイトに「プリンス」と呼ばれているという情報が流れたりと情報交換の場でもありました。

トーナメントに入ってからのある会場では準備していた相手チームの通訳の手違いがその場で発覚し、同じようなことが2回も続いたため、スペインのローマン監督は「これ以上選手を待たせるわけにはいかない」と記者会見が開催される前に退席をしてしまい、集まった記者たちには正式な説明が遅れて会見の進行に対する不満が出る一幕もありました。また、通訳も十分に確保されていなかったのか、一度英語やフランス語に訳してから日本語に訳すというチームもあり、チームと同行しているボランティアから不満の声もあがっており、期間中スポーツ面の一面を割いてハンドボールを取り上げていた地元紙にも厳しく批判されていました。

しかし日程で厳しい面もあったものの、どのチームの監督も今回の世界選手権はすべてがスムーズに行動できたと感激しており、大会役員や体育館関係者に感謝の言葉を残してくれていました。

等学校ハンドボール選手権大会

［男　子］

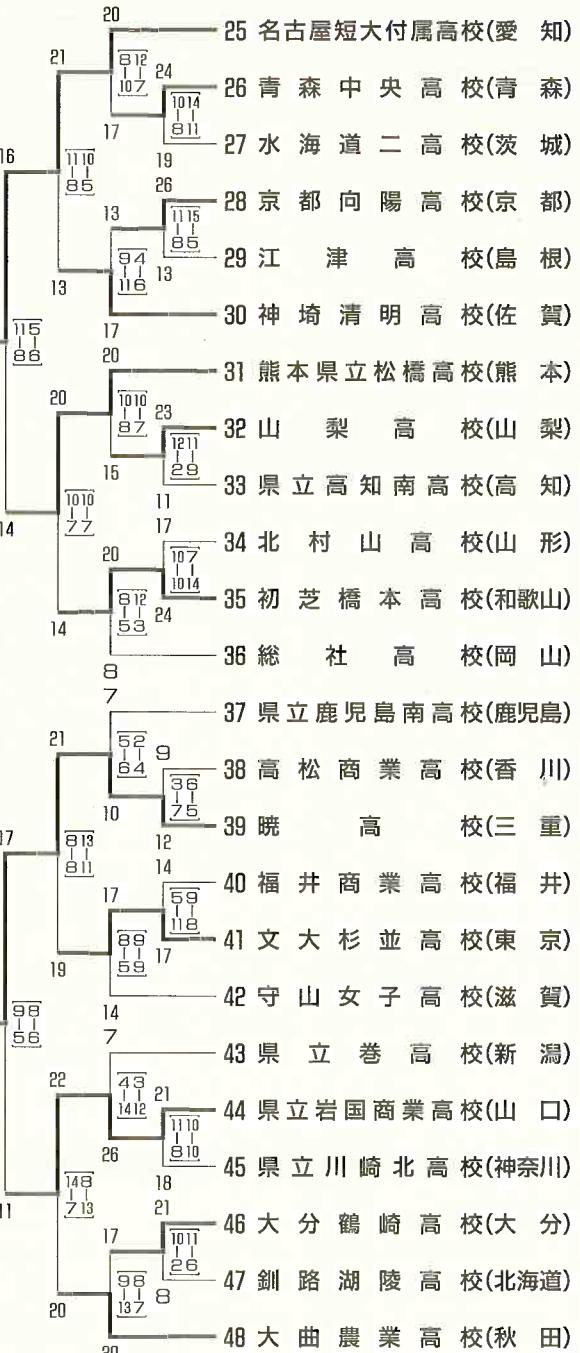
A 八幡市民体育館　8月2日～8月7日
C 同志社大学体育館Cコート　8月2日～8月4日
D 同志社大学体育館Dコート　8月2日～8月4日

- 久工大附高校(福岡) 1
- 総社高校(岡山) 2
- 釧路湖陵高校(北海道) 3
- 県立池田高校(徳島) 4
- 市川高校(千葉) 5
- 小松明峰高校(石川) 6
- 那覇西高校(沖縄) 7
- 松江工業高校(島根) 8
- 清水東高校(静岡) 9
- 北大和高校(奈良) 10
- 仙台商業高校(宮城) 11
- 駿台甲府高校(山梨) 12
- 神埼清明高校(佐賀) 13
- 明星高校(東京) 14
- 県立岐阜商業高校(岐阜) 15
- 甲越高校(新潟) 16
- 府立北嵯峨高校(京都) 17
- 学校法人石川高校(福島) 18
- 北陸高校(福井) 19
- 北陽高校(大阪) 20
- 今治西高校(愛媛) 21
- 大分電波高校(大分) 22
- 湯沢高校(秋田) 23
- 県立伊奈高校(茨城) 24

- 25 横浜商工高校(神奈川)
- 26 八幡工業高校(滋賀)
- 27 修道高校(広島)
- 28 県立甲陵高校(鹿児島)
- 29 県立氷見高校(富山)
- 30 県立四日市工業高校(三重)
- 31 國學院大栃木高校(栃木)
- 32 盛岡三高校(岩手)
- 33 屋代高校(長野)
- 34 大谷高校(京都)
- 35 国立高知高等専門学校(高知)
- 36 都城工業高校(宮崎)
- 37 岡崎城西高校(愛知)
- 38 岩国工業高校(山口)
- 39 県立富岡高校(群馬)
- 40 熊本市立商業高校(熊本)
- 41 紀北農芸高校(和歌山)
- 42 北村山高校(山形)
- 43 高松工芸高校(香川)
- 44 境港工業高校(鳥取)
- 45 育英高校(兵庫)
- 46 瓊浦高校(長崎)
- 47 青森商業高校(青森)
- 48 浦和学院高校(埼玉)

優勝　北陸　23（14-8, 9-12）20　準優勝　横浜商工

高松宮賜杯　第48回全日本高

[女　子]

B 田辺中央体育館　8月2日～8月7日
D 同志社大学体育館Dコート　8月2日～8月4日
E 同志社女子大学体育館　8月2日～8月3日

1. 宜真高校(大阪)
2. 栃木商業高校(栃木)
3. 徳島城北高校(徳島)
4. 小松市立高校(石川)
5. 聖和女子学院高校(長崎)
6. 聖和学園高校(宮城)
7. 昭和学院高校(千葉)
8. 米子西高校(鳥取)
9. 添上高校(奈良)
10. 清水市立商業高校(静岡)
11. 屋代高校(長野)
12. 筑紫女学園高校(福岡)
13. 山陽女子高校(広島)
14. 延岡商業高校(宮崎)
15. 県立氷見高校(富山)
16. 郡山女子高校(福島)
17. 府立洛北高校(京都)
18. 富岡東高校(群馬)
19. 盛岡二高校(岩手)
20. 浦和実業高校(埼玉)
21. 夙川学院高校(兵庫)
22. 今治北高校(愛媛)
23. 養老女子商業高校(岐阜)
24. 那覇西高校(沖縄)
25. 名古屋短大付属高校(愛知)
26. 青森中央高校(青森)
27. 水海道二高校(茨城)
28. 京都向陽高校(京都)
29. 江津高校(島根)
30. 神埼清明高校(佐賀)
31. 熊本県立松橋高校(熊本)
32. 山梨高校(山梨)
33. 県立高知南高校(高知)
34. 北村山高校(山形)
35. 初芝橋本高校(和歌山)
36. 総社高校(岡山)
37. 県立鹿児島南高校(鹿児島)
38. 高松商業高校(香川)
39. 暁高校(三重)
40. 福井商業高校(福井)
41. 文大杉並高校(東京)
42. 守山女子高校(滋賀)
43. 県立巻高校(新潟)
44. 県立岩国商業高校(山口)
45. 県立川崎北高校(神奈川)
46. 大分鶴崎高校(大分)
47. 釧路湖陵高校(北海道)
48. 大曲農業高校(秋田)

決勝：優勝　名短大付　18　99－83　11　準優勝　宣真

速報:第2回ジャパンオープントーナメント

(男子)8月7日～10日
(女子)8月7日～9日

男子・香川クラブ、女子・かながわカビアーノが優勝

男子

■1回戦

香川クラブ（香川）	37－21	わかくさクラブ（奈良）
境港クラブ（鳥取）	25－19	学石クラブ（福島）
京都教員（京都）	36－16	若松クラブ（千葉）
ラージエスト（東京）	32－19	オモミクラブ（長崎）
エルムクラブ（北海道）	32－19	向陵クラブ（富山）
ゆめクラブ（神奈川）	28－19	かつらお（長野）
コザクラブ（沖縄）	35－18	松山送球会（愛媛）
日新製鋼呉（広島）	46－21	茨城コンドルズ（茨城）
湯沢クラブ（秋田）	35－23	西宮東クラブ（兵庫）
下松クラブ（山口）	41－26	静岡県教員団（静岡）
甲府クラブ（山梨）	32－23	長崎クラブ（長崎）
大同クラブ（愛知）	30－20	尾形クラブ（宮城）
金沢市役所（石川）	33－27	蒔田クラブ（神奈川）
別府クラブ（大分）	26－23	高島クラブ（滋賀）
福島クラブ（福島）	33－12	南クラブ（埼玉）
ホンダクラブ（三重）	26－18	ソシオ大阪（大阪）

■2回戦

香川クラブ	32－21	境港クラブ
京都教員	32－19	ラージェスト
大同クラブ	20－19	エルムクラブ
コザクラブ	25－21	ゆめクラブ
日新製鋼呉	25－22	湯沢クラブ
甲府クラブ	34－28	下松クラブ
金沢市役所	34－19	別府クラブ
福島クラブ	28－24	ホンダクラブ

■3回戦

香川クラブ	26－22	京都教員
日新製鋼呉	34－28	甲府クラブ
大同クラブ	27－17	コザクラブ
福島クラブ	25－21	金沢市役所

■準決勝

香川クラブ	34－18	大同クラブ
福島クラブ	33－26	日新製鋼呉

■3位決定戦

大同クラブ	22－20	日新製鋼呉

■決勝

香川クラブ 29（14－14、15－11）25 福島クラブ

女子

■1回戦

自衛隊体育学校（埼玉）	29－25	明野コスモス（大分）
香川BK・TH（香川）	38－13	三重教員女子（三重）
かながわガビアーノ（神奈川）	26－14	FUKUSHIMA（福島）
徳山クラブ（山口）	25－18	びわこLAKERS（滋賀）
花巻クラブ（岩手）	34－18	玉川クラブ（神奈川）
メガトンズ（大阪）	31－29	小松クラブ女子（石川）
くらぶGunma（群馬）	25－24	函館ホッパーズ（北海道）
宮崎クラブ（宮崎）	28－27	名古屋クラブ（愛知）

■2回戦

自衛隊体育学校	24－22	香川BK・TH
かながわガビアーノ	32－13	徳山クラブ
メガトンズ	29－17	花巻クラブ
宮崎クラブ	25－17	くらぶGunma

■準決勝

かながわガビアーノ	21－20	自衛隊体育学校
メガトンズ	25－19	宮崎クラブ

■3位決定戦

自衛隊体育学校	26－16	宮崎クラブ

■決勝

かながわガビアーノ 17（7－8、10－8）16 メガトンズ

第22回日本リーグを迎えて

日本ハンドボールリーグ副委員長　鵜澤　潔

●熊本世界大会の後の日本リーグ

「ハンドボールリーグは面白い!」という会話を街の中で、読者の皆さんは幾度となく聞いたのではないだろうか。

熊本世界選手権の開催は日本国内において多くの人から認知を受ける大会であったのは、改めて述べることでもないことであるが、ハンドボールの関係者の一人として、このスポーツが世の中の一般の人々に評価を受けるのは嬉しい。

これは、世界大会招聘の成功とその準備や運営にあたられた関係者の方々の並々ならぬ苦労があってのことだ。

本大会ゲーム内容そのものも素晴らしく、世界の一流のチームの熱戦がそこにあり、日本代表選手たちの活躍があったからこそ、ハンドボールに対するイメージが大幅に改善されたのである。

また、NHK総合での決勝戦中継やBS放送を中心に映像メディアで全国にある程度まで発信でき、NHKニュース11や朝日放送系列の「ニュースステーション」など民放キー局もゴールデンタイムの全国ネットで取り上げたのも、ハンドボールの認知を深めた意味で、大きな収穫といえよう。

そして、何よりハンドボールを楽しもうとする観客で一杯に埋まった会場はハンドボールのイメージを何より変えたし、大観衆を背にした選手のパフォーマンスは輝きをさらに増したのである。

この熊本世界選手権が盛り上がった後のハンドボール界が、21世紀をまもなく迎えるにあたり、このスポーツをさらに発展させていくことが、我々関係者の使命でもあることを肝に銘じねばならない。

そして何よりその為の行動を起こさねば何の為の熊本世界大会だったのか解らなくなる。

振り返るとこれまでの大会運営はとかくファンであるお客様の存在を忘れがちであった。大会運営そのものをこなしていくことにのみ力点がおかれ過ぎていたといっても過言ではなくその反省もやり過ごしてきた。

日本リーグでは、ようやく1月の日本リーグ21回のプレーオフ大会(東京体育館3750名観戦)や6月のワールド・ドリーム・ゲーム(駒沢体育館2200名観戦)あたりからお客様本位の運営ができるようになってきたと思うが、まだまだ観客の皆さんに満足される運営には程遠い。だから第22回日本リーグのホームゲームの運営関係者は努力を惜しまずに、より良い運営を実践して欲しい。

8月上旬、日本リーグプレーオフ実行委員会は第22回のプレーオフ大会へ向けて活動を再開したが、スローガンは「ファンの為に何ができるか」である。

日本リーグは、運営関係者だけでなく監督や選手、チームのフロントもファンの為に何ができるかを考えて、熊本世界大会の人気を引き継ぎ、さらに盛り上げていきたいものだ。

●蒲生監督のメイク・メジャーとサムシング・スペシャル

8月9日(土)暑い日の午後、渋谷のホテルで男子日本代表監督蒲生晴明さんの記者会見が行われた。

その記者会見で蒲生さんは、「メイク・メジャー」「サムシング・スペシャル」というキャッチフレーズを掲げた。

「メイク・メジャー」とは文字通り、みんなでハンドボールというスポーツをもっとメジャーにしていこう、という呼び掛けである。

その言葉は代表チームだけでなく日本リーグやユース・ジュニアのトップ選手や指導者、全国の各地域の協会や支援組織も、みんなで一緒になって盛り上げようという意味でのキャッチフレーズだ。

「サムシング・スペシャル」は、これまで造り上げてきた蒲生→オルソン→蒲生とした今回の監督就任でハンドボールの流れをもっと世界に通用する高いレベルを目指すテーマとして、チームにおいても一人の代表選手としても、これまでに造り上げてきたものの上に新しい何かを追求していくという意味のキャッチフレーズだ。

代表チームの強化と日本リーグの活性化は密接な関係にあり、M²とSを掲げた蒲生男子代表と女子代表チームを日本リーグとしても微力ながらできるかぎりの協力をして行きたい。

●日本リーグが目指すエンターテイメントの世界

現代のスポーツに対する一般社会の評価はこれまでのものと明らかに違う特徴を持っている。

○映像として分かりやすくメディアに露出しているか。
○そのスポーツのレベルが国際的に高い位置にあるか。
○そのスポーツが高いエンターティメント性を持っているか。
○選手及びチームはあこがれの対象として、そして運営機構はファンを満足させる大会運営においてプロ意識を持っているか。

以上の4点に評価の基準が要約されているのではないかと思う。

このことは、プロだとかアマだとかの区分を必要としない。

どんなスポーツも最初からメジャーとかマイナーとかの色がついていた訳ではない。

熊本世界選手権を契機にハンドボール界に関わる人々が、前記の項目を念頭に置いて活動していくようになれば、このスポーツは高い評価を受けていくだろう。

今シーズンに日本リーグは優勝チームがどこになるかに注目するのでなく、対戦カードに関わらずどこの会場がお客様で満員となりファンの満足度が高いかを注目したい。同時にファンを無視した運営をなくしていきたい。

Jリーグの浦和レッズや鹿島アントラーズに訪問させていただき運営のアドバイスを得るチャンスがあった。両チームともシーズン前に前売のチケットを完売してしまう人気のチームだ。

人気の秘密を聞いたところ、選手には「ひたむきなプレー」を求め、ファンには大人から子どもまでの幅広いファンを、言うなれば自分たちから見て、VIPとしての対応を心がけているとのことだった。

一方で、観客数が激減しているチームのほとんどが実施しているのは、招待券を使っての安易な動員策や入場料金を安く設定してファンを呼ぼうとするたやすい動員策、モノで人を呼ぼうとする動員策などである。いずれも大会運営の質を低下させるばかりでなく、ファンを長い目で見て根づかせないことだということも解った。

ハンドボールの第22回日本リーグはお客様本位という気持ちを忘れずに運営をしながら、各会場をファンで一杯にしてこそ展望が開けるのである。

この誌面をお借りし、全国のハンドボールファン及び関係者の皆さまに日本リーグに対するご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

ボールリーグ日程表

			一部				二部			
			男子		女子		男子		女子	
週	月日	開催地	時間	組合わせ	時間	組合わせ	時間	組合わせ	時間	組合わせ
1	9/20(土)	八尾			16:30	大和×日立	15:00	KFC×本熊		
	9/23(火)	栃木			14:30	日立×ジャスコ				
		東京	15:00	三陽×日新			13:30	三景×車体		
		東京	16:30	中村×北電						
		高岡			12:30	北国×イズミ				
		高岡			14:00	立山×大崎				
		熊本			15:00	オムロン×大和	13:30	本熊×トヨタ		
		本宮町							14:30	ムネカタ×シャトレ
		国分							18:00	ソニー×ブラザー
	9/27(土)	盛岡	15:40	大崎×湧永	14:00	大崎×イズミ				
		鈴鹿	14:40	本田×大同	13:00	ジャスコ×オムロン				
		佐賀					15:00	アラコ×デンソー		
	9/28(日)	栃木			14:30	日立×北国				
		高石			14:30	大和×立山	13:00	KFC×トクヤマ		
		湯沢							15:00	シャトレ×ソニー
		名古屋							11:00	ブラザー×ムネカタ
2	9/30(火)	金沢			10:00	北国×ジャスコ				
	10/1(水)	志木			18:00	大崎×オムロン				
	10/2(木)	広島			19:00	イズミ×立山				
		徳山					18:30	トクヤマ×アラコ		
	10/5(日)	名古屋	14:00	大同×三陽			11:00	トヨタ×三景	12:30	ブラザー×シャトレ
		小松	17:30	北電×本田	16:00	立山×ジャスコ				
		小松			19:00	北国×大崎				
		京都			15:00	オムロン×日立				
		甲田町	15:10	湧永×中村	13:30	イズミ×大和				
		呉	14:00	日新×大崎						
		本宮町							14:30	ムネカタ×ソニー
		知立					13:00	デンソー×本熊		
		知立					14:30	車体×KFC		
3	10/8(水)	栃木			18:00	日立×大崎				
		氷見			19:00	立山×北国				
		富士吉田							17:00	シャトレ×ムネカタ
	10/9(木)	四日市			18:30	ジャスコ×大和				
		山鹿			18:30	オムロン×イズミ				
		名古屋							18:00	ブラザー×ソニー
		佐賀					18:30	アラコ×KFC		
	10/11(土)	名古屋	17:00	大同×日新			15:30	トヨタ×車体		
	10/12(日)	青森			14:00	日立×立山				
		東京	15:00	三陽×北電			13:30	三景×デンソー		
		東京	16:30	中村×大崎						
		名張	14:40	本田×湧永	13:00	ジャスコ×イズミ				
		守口			15:00	大和×大崎				
		水俣			15:00	オムロン×北国	13:30	本熊×トクヤマ		
		本宮町							14:30	ムネカタ×ブラザー
		国分							11:00	ソニー×シャトレ
4	10/16(木)	広島			19:00	イズミ×日立				
	10/18(土)	三郷	15:30	大崎×本田	14:00	大崎×ジャスコ				
	10/19(日)	富山	16:00	北電×大同	13:00	北国×大和				
		富山			14:30	立山×オムロン				
		神戸	15:00	日新×中村						
		高知	14:30	湧永×三陽					13:00	ソニー×ムネカタ
		岩井							13:30	シャトレ×ブラザー
		岡崎					12:30	車体×アラコ		
		岡崎					14:00	デンソー×トヨタ		
5	11/1(土)	徳山					14:00	トクヤマ×三景		
	11/8(土)	鈴鹿	13:00	本田×中村						
		久留米					14:00	本熊×アラコ		
	11/9(日)	水海道	15:00	三陽×大崎			13:30	三景×KFC		
		松岡町	13:30	北電×日新						
		東海	14:30	大同×湧永			11:30	トヨタ×トクヤマ		
		東海					13:00	デンソー×車体		
6	11/14(金)	知立					18:30	車体×本熊		
	11/15(土)	三郷	15:00	大崎×大同						
		呉	15:00	湧永×北電						
		呉	16:40	日新×本田						
	11/16(日)	高石					15:00	KFC×トヨタ		
		佐賀					14:00	アラコ×三景		
7	11/17(月)	徳山					18:30	トクヤマ×デンソー		
	11/18(火)	東京	19:00	中村×三陽						
	11/19(水)	東京	19:30	三陽×本田			18:00	三景×本熊		
	11/22(土)	松岡町	13:30	北電×大崎						
		広島	15:00	日新×湧永						
		三好町					13:30	車体×トクヤマ		
		三好町					15:00	トヨタ×アラコ		
	11/23(日)	岡崎	14:00	大同×中村			12:30	デンソー×KFC		

第22回日本ハンド

	月日	開催地	時間	組合わせ	時間	組合わせ	時間	組合わせ	時間	組合わせ
1	12/13(土)	名古屋	15:30	大同×本田			12:30	デンソー×アラコ		
		名古屋					14:00	トヨタ×本熊		
		松岡町	13:30	北電×中村						
		甲田町	13:00	日新×三陽						
		甲田町	14:40	湧永×大崎						
		知立					14:00	車体×三景		
		徳山					11:00	トクヤマ×KFC		
2	12/17(火)	東京	18:00	三陽×大同			16:30	三景×トヨタ		
		東京	19:30	中村×湧永						
	12/20(土)	志木	15:00	大崎×日新						
		大阪					14:30	KFC×車体		
		佐賀					15:00	アラコ×トクヤマ		
		鹿本町					16:00	本熊×デンソー		
	12/21(日)	鈴鹿	13:00	本田×北電						
3	12/22(月)	徳山					18:30	トクヤマ×本熊		
	12/23(火)	浦和	14:00	大崎×中村						
		松岡町	13:30	北電×三陽						
		呉	13:00	日新×大同						
		福岡	14:00	湧永×本田						
		貝塚					14:30	KFC×アラコ		
	12/25(木)	刈谷					13:00	デンソー×三景		
		刈谷					14:30	車体×トヨタ		
4	1/6(火)	高岡			19:00	立山×大和				
		松山			18:00	北国×日立				
		山鹿			18:30	オムロン×ジャスコ				
	1/8(木)	広島			19:00	イズミ×大崎				
	1/10(土)	東京	16:30	三陽×湧永			14:00	三景×トクヤマ		
		東京	17:00	中村×日新						
		富士宮	16:30	本田×大崎	15:00	ジャスコ×大崎				
		佐賀					15:00	アラコ×車体		
	1/11(日)	栃木			14:30	日立×イズミ				
		名古屋	14:00	大同×北電			12:30	トヨタ×デンソー		
		生駒			14:00	大和×北国				
		大分			14:50	オムロン×立山	13:20	本熊×KFC	11:50	ソニー×ブラザー
		本宮町							15:00	ムネカタ×シャトレ
5	1/13(火)	知立					18:30	車体×デンソー		
	1/15(木)	東根			14:00	日立×オムロン				
		堺			14:30	大和×イズミ				
		徳山	15:50	中村×本田	14:25	ジャスコ×立山	13:00	トクヤマ×トヨタ		
		浦添			14:00	大崎×北国	12:30	アラコ×本熊		
		塩山							14:00	シャトレ×ソニー
		名古屋							12:30	ブラザー×ムネカタ
	1/17(土)	川越	14:00	大崎×三陽	15:30	大崎×日立				
		堺			14:30	大和×ジャスコ	13:00	KFC×三景		
	1/18(日)	金沢			14:00	北国×立山				
		広島	13:00	日新×北電	16:20	イズミ×オムロン				
		広島	14:40	湧永×大同						
		本宮町							14:30	ムネカタ×ソニー
		半田							13:00	ブラザー×シャトレ
6	1/24(土)	名古屋	17:30	大同×大崎					16:00	ブラザー×ソニー
		四日市	14:40	本田×日新	13:00	ジャスコ×北国				
	1/25(日)	栃木			14:30	日立×大和				
		府中	15:30	三陽×中村			14:00	三景×アラコ		
		福井	14:30	北電×湧永	13:00	立山×イズミ				
		宮崎			14:50	オムロン×大崎	13:20	本熊×車体		
		甲府							15:00	シャトレ×ムネカタ
		豊田					13:00	デンソー×トクヤマ		
		豊田					14:30	トヨタ×KFC		
7	1/28(水)	志木			18:00	大崎×大和				
		小松			18:00	立山×日立				
		小松			19:30	北国×オムロン				
		本宮町							19:00	ムネカタ×ブラザー
		名瀬							18:30	ソニー×シャトレ
	1/29(木)	広島			19:00	イズミ×ジャスコ				
		徳山					18:30	トクヤマ×車体		
	1/31(土)	浦和	15:30	大崎×北電	14:00	大崎×立山				
		守口			14:30	大和×オムロン	13:00	KFC×デンソー		
	2/1(日)	船橋	14:00	中村×大同						
		岐阜	15:10	本田×三陽	13:30	ジャスコ×日立				
		広島	14:40	湧永×日新	13:00	イズミ×北国				
		塩山							14:00	シャトレ×ブラザー
		佐賀					14:00	アラコ×トヨタ		
		本渡					11:00	本熊×三景		
		国分							11:00	ソニー×ムネカタ

☆プレーオフ大会：平成10年２月27日(金)～３月１日(日)　東京（駒沢体育館）
☆テレビ放送等の関係で試合時間が変更になることがあります。

第10回全国小学生ハンドボール大会

1997年7月30～31日　滋賀県立長浜ドーム

男子

予選リーグ成績・男子

	チーム名	第1試合		第2試合		総得失点差			勝点	順位
		得点	失点	得点	失点	得点	失点	差		
A	宗方男子ハンドボールクラブ	38	1	38	5	76	6	70	4	1
B	和歌山市ハンドボール教室	1	38	1	31	2	69	-67	0	22
C	スポーツ少年団守谷クラブ	24	4	31	1	55	5	50	4	3
D	明石ジュニア	4	24	7	16	11	40	-29	0	18
E	函館選抜	4	21	16	7	20	28	- 8	2	13
F	神森小学校	21	4	23	4	44	8	36	4	5
G	東安居ハンドボールスポーツ少年団	9	18	4	23	13	41	-28	0	17
H	埴生小学校ハンドボール班	18	9	12	18	30	27	3	2	11
I	塩山ハンドボールスポーツ少年団	14	11	18	12	32	23	9	4	7
J	豊福小学校ハンドボール部	11	14	14	4	25	18	7	2	9
K	愛知県ハンドボールスクール	6	10	4	14	10	24	-14	0	16
L	三松小ハンドボールスポーツ少年団	10	6	16	7	26	13	13	4	6
M	大浜キッズ	22	7	7	16	29	23	6	2	10
N	笹川ハンドボール少年団	7	22	6	30	13	52	-39	0	19
O	窪スポーツ少年団ハンドボール部	42	1	30	6	72	7	65	4	2
P	南比都佐小学校	1	42	1	18	2	60	-58	0	21
Q	瀬戸オールスターズジュニア	6	33	18	1	24	34	-10	2	15
R	田辺東小学校	33	6	24	7	57	13	44	4	4
S	甲田ハンドボール部	18	11	7	24	25	35	-10	2	14
T	安堵の里ハンドボールクラブ	11	18	13	12	24	30	- 6	2	12
U	富岡イーグルス	27	7	12	13	39	20	19	2	8
V	香川町オリーブくん	7	27	5	38	12	65	-53	0	20

■決勝トーナメント

《1回戦》

宗方男子(大分)　20－4　愛知県ハンド(愛知)

富岡イーグルス(群馬)　22－12　豊福小学校(熊本)

神森小学校(沖縄)　20－9　安堵の里ハンド(奈良)

田辺東小学校(京都)　25－8　函館選抜(北海道)

守谷クラブ(茨城)　14－8　甲田ハンド(広島)

三松小ハンド(宮崎)　16－6　埴生小学校(長野)

大浜キッズ(大阪)　14－10　塩山ハンド(山梨)

窪スポーツ少年団(富山)　19－9　瀬戸オールスターズ(岡山)

《準々決勝》

窪スポーツ少年団　21－11　大浜キッズ

神森小学校　12－10　田辺東小学校

守谷クラブ　14－11　三松小ハンド

宗方男子　15－9　富岡イーグルス

《17～19位リーグ》

東安居ハンド(福井)　13－8　明石ジュニア(兵庫)

笹川ハンド(三重)　15－11　明石ジュニア

東安居ハンド　9－8　笹川ハンド

《20～22位リーグ》

南比都佐(滋賀)　14－9　オリーブくん(香川)

南比都佐　14－2　和歌山市ハンド(和歌山)

オリーブくん　14－9　和歌山市ハンド

《準決勝》

窪スポーツ少年団　14－13　守谷クラブ

神森小学校　14－9　宗方ハンド

《決勝》

窪スポーツ少年団　12－9　神森小学校

［最終順位］

優勝　窪スポーツ少年団(初優勝)

準優勝　神森小学校

第3位　宗方ハンドボールクラブ・スポーツ少年団守谷クラブ

女子

予選リーグ成績・女子

	チーム名	第1試合		第2試合		総得失点差			勝点	順位
		得点	失点	得点	失点	得点	失点	差		
ア	明野西ハンドボールクラブ	24	1	24	2	48	3	45	4	1
イ	高盛ハンドボールクラブ	1	24	5	8	6	32	-26	0	16
ウ	甲田ハンドボール部	3	13	8	5	11	18	- 7	2	8
エ	富岡ラビッツ	13	3	5	29	18	32	-14	2	9
オ	桃園小学校	24	6	29	5	53	11	42	4	3
カ	網津小ハンドボール部	6	24	17	4	23	28	- 5	2	7
キ	安堵の里ハンドボールクラブ	3	18	4	17	7	35	-28	0	17
ク	日知屋東小学校ハンドボール部	18	3	12	20	30	23	7	2	6
ケ	仏生寺スポーツ少年団	40	5	20	12	60	17	43	4	2
コ	大浜キッズ	5	40	15	14	20	54	-34	2	12
サ	香川町オリーブちゃん	9	12	14	15	23	27	- 4	0	13
シ	愛知県ハンドボールスクール	12	9	4	24	16	33	-17	2	11
ス	神森小学校	24	4	24	4	48	8	40	4	4
セ	明石ジュニア	4	24	13	9	17	33	-16	2	10
ソ	埴生小学校ハンドボール班	4	13	9	13	13	26	-13	0	14
タ	笹川ハンドボール少年団	13	4	11	10	24	14	10	4	5
チ	東安居ハンドボールスポーツ少年団	10	11	2	24	12	35	-23	0	15

■決勝トーナメント

《準々決勝》

明野西ハンド(大分)　26－5　甲田ハンド(広島)

神森小学校(沖縄)　20－5　笹川ハンド(三重)

桃園小学校(京都)　15－6　日知屋東小学校(宮崎)

仏生寺スポーツ(富山)　18－8　網津小学校(熊本)

《9～11位リーグ》

富岡ラビッツ(群馬)　17－8　明石ジュニア(兵庫)

明石ジュニア　7－7　愛知県ハンド(愛知)

富岡ラビッツ　11－10　愛知県ハンド

《12～14位リーグ》

オリーブちゃん(香川)　16－8　大浜キッズ(大阪)

オリーブちゃん　11－6　埴生小学校(長野)

大浜キッズ　8－4　埴生小学校

《15～17位リーグ》

高盛ハンド(北海道)　8－7　東安居ハンド(福井)

安堵の里ハンド(奈良)　13－6　高盛ハンド

安堵の里ハンド　15－9　東安居ハンド

《準決勝》

明野西ハンド　15－9　神森小学校

桃園小学校　11－10　仏生寺スポーツ

《決勝》

明野西ハンド　15－6　桃園小学校

［最終順位］

優勝　明野西ハンドボールクラブ(2年連続3回目)

準優勝　桃園小学校

第3位　神森小学校・仏生寺スポーツ少年団

第17回全国クラブ選手権大会東地区大会

7月25〜27日／本宮総合体育館・他

男子

■予選リーグ

●Aブロック

三崎クラブ 27−12 宮城教員クラブ

高崎クラブ 24−19 宮城教員クラブ

三崎クラブ 19−12 高崎クラブ

[順位]①三崎クラブ②高崎クラブ③宮城教員クラブ

●Bブロック

小金クラブ 30−20 盛岡商友会

小松クラブ 19−14 盛岡商友会

小松クラブ 21−16 小金クラブ

[順位]①小松クラブ②小金クラブ③盛岡商友会

●Cブロック

山形新球会 21−9 あさまクラブ

桜門クラブ 27−15 あさまクラブ

桜門クラブ 21−12 山形新球会

[順位]①桜門クラブ②山形新球会③あさまクラブ

●Dブロック

日川クラブ 21−15 有斗クラブ

日川クラブ 16−12 福島SGクラブ

福島SGクラブ 20−16 有斗クラブ

[順位]①日川クラブ②福島SGクラブ③有斗クラブ

■決勝トーナメント

●《準決勝》

三崎クラブ 22−11 小松クラブ

桜門クラブ 24−20 日川クラブ

●《決勝》

三崎クラブ 22−18 桜門クラブ

本宮町長杯トーナメント

●《準決勝》

小金クラブ 36−22 高崎クラブ

山形新球会 24−21 福島SGクラブ

●《決勝》

小金クラブ 23−21 山形新球会

女子

■予選リーグ

●Eブロック

殖銀ハンドボールクラブ 10−10 札幌さくらクラブ

SAKURAクラブ 18−6 本宮クラブ

殖銀ハンドボールクラブ 13−9 本宮クラブ

SAKURAクラブ 24−7 札幌さくらクラブ

SAKURAクラブ 19−10 殖銀ハンドボールクラブ

札幌さくらクラブ 12−8 本宮クラブ

[順位]①SAKURAクラブ②殖銀ハンドボールクラブ③札幌さくらクラブ④本宮クラブ

●Fブロック

萩江クラブ 14−12 屋代クラブ

佳英クラブ 14−7 御城クラブ

萩江クラブ 20−8 御城クラブ

佳英クラブ 16−10 屋代クラブ

佳英クラブ 14−11 萩江クラブ

御城クラブ 15−11 屋代クラブ

[順位]①佳英クラブ②萩江クラブ③御城クラブ④屋代クラブ

■決勝トーナメント

●《準決勝》

萩江クラブ 17−16 SAKURAクラブ

佳英クラブ 24−10 殖銀ハンドボールクラブ

●《決勝》

佳英クラブ 19−16 萩江クラブ

本宮町長杯トーナメント

●《準決勝》

屋代クラブ 14−9 札幌さくらクラブ

御城クラブ 20−13 本宮クラブ

●《決勝》

御城クラブ 13−12 屋代クラブ

第17回全国クラブ選手権大会西地区大会

7月19〜20日／山鹿市総合体育館・他

男子

■予選リーグ

●Aリーグ

清商ヤング 18−14 宮崎クラブ

千里関大 17−10 清商ヤング

千里関大 24−18 宮崎クラブ

●Bリーグ

徳山クラブ 23−18 新田クラブ

正強OB 29−14 新田クラブ

徳山クラブ 20−16 正強OB

●Cリーグ

宮崎フェニックス 18−14 丸八クラブ

丸八クラブ 14−13 那賀クラブ

那賀クラブ 18−16 宮崎フェニックス

●Dリーグ

ACウインズ 20−17 熊本教員クラブ

熊本教員クラブ 25−10 PF須磨東

ACウインズ 22−16 PF須磨東

●《準決勝》

千里関大 25−13 徳山クラブ

ACウインズ 17−13 宮崎フェニックス

●《決勝》

ACウインズ 22−18 千里関大

[順位]①ACウインズ②千里関大③宮崎フェニックス④徳山クラブ

女子

■予選リーグ

●Eリーグ

ポストクラブ 17−9 レキオクラブ

熊本クラブ 22−10 松下電工クラブ

熊本クラブ 20−18 レキオクラブ

松下電工クラブ 19−9 ポストクラブ

レキオクラブ 25−14 松下電工クラブ

熊本クラブ 23−7 ポストクラブ

●Fリーグ

今治クラブ 22−20 琉球クラブ

金曜クラブ 17−13 クラブ下松

クラブ下松 20−14 今治クラブ

琉球クラブ 17−13 金曜クラブ

金曜クラブ 19−11 今治クラブ

琉球クラブ 23−12 クラブ下松

●《決勝》

熊本クラブ 26−21 琉球クラブ

[順位]①熊本クラブ②琉球クラブ③レキオクラブ④金曜クラブ

学校体育ハンドボール検討委員会

簡易ハンドボール指導の実践報告書

山形県余目町立第三小学校
鈴木昭彦

①単元名

ハンドボール―6学年―

②種目特性のとらえ方

ハンドボールは、相対する2チームで行い、チームが協力してボールを手でドリブルまたはパスして相手のゴールを攻めたり、自分のゴールを相手の攻撃から守ったりしながら、決まった時間内にあげた得点の多さを競い合うボールゲームである。

授業ではクラスの実態に応じてプレーヤー数等を工夫できる。またチームの勝利よりも児童一人一人の活躍や楽しさを重視するべきである。

ハンドボールの授業をする上でのよさは次の点にある。

●授業に導入しやすい（ルールが簡単に覚えられる。ボール操作が容易である。体格に関係なく活躍できる。）

●児童にとって楽しい（すべての児童が活躍できる。協力し合って得点できる。作戦がゲームで生かされたとき、一層楽しさを味わうことができる。）

●児童に技能をつける（投力、跳躍力、走力、持久力等の基礎体力。身体操作技能。ボール操作技能。）

●児童に思考・判断力をつける（状況判断力。先取り能力。作戦をたてる上での思考力。）

③子供達の準備状況の把握

●児童数23名：男子16名、女子7名。

●ハンドボールへの意識：事前アンケートの結果からハンドボールについての予備知識はほとんどない。

●ハンドボールに必要な技能・体力の程度：ボール運動への関心は全体的に高いが、体格の個人差、男女差が大きく、投力に差がある。他の球技の経験から推測すると、ハンドボールで活躍できる児童は、球技得意タイプであろう。しかし、ドリブルの得意な一部の児童だけが活躍してしまうであろう。また、動く相手にパスをしたり、動きながらキャッチするのが苦手な児童が多い。

④実践上の制約条件

●授業では6時間しかとれない。

●使えるゴールは1組しかない。

●体育館がせまい。

⑤ねらい

●関心・意欲・態度

1）一人一人が練習やゲームに積極的に参加し、ハンドボールを楽しむことができる。

●判断力・技能

2）味方のプレーヤーがとりやすいパスをしたり、確実にパスをキャッチしたりすることができる。

3）正しいフォームでスタンディングシュートやジャンプシュートをうつことができる。

4）常に、ボールがもらえる位置に動き、うてるチャンスを発見し、できるだけシュートを多くすることができる。

5）チームのみんなでパスをつないでシュートチャンスをつくることができる。（以上攻撃面。）

6）相手チームの攻撃に対して、マークする相手を決め、パスカットやシュートブロックをすることができる。（以上防御面。）

●知識・理解力

7）ハンドボールの基本的ルールや、自分達で決めたルールを覚えることができる。

⑥教材化における工夫

1）ゲーム中心の展開にする。

2）ルールを工夫する。

●ルールの単純化

●女子に得点のハンデ：男子2点、女子4点。

●ゴールキーパーの交代制

●全員シュートしたチームにボーナス点

●ゴールキーパーの顔面にあてたら、ゴールキーパー側の得点になる

3）基礎技能を練習する時間の確保（教師主導）

●パスキャッチ（チームごとの三角パス）：ゲーム形式も取り入れる。

●パスゲーム

●ドリブルリレー（リターン、方形コース）

●シュート練習（スタンディング中心）

4）学習カード

●相手チームを見て、攻撃の分担、守りの分担を決めて書く。

●個人のシュート数、得点数を記録する。

⑦学習指導計画（表1参照）

⑧ねらい達成の評価法

ねらい(1)：学習終了後、アンケートを実施し、その結果を分析し評価する。

ねらい(2)(3)(5)(6)：教師の記述をもとに評価する。

ねらい(4)：学習カードのシュート数・成功数のデータをもとに評価する。

⑨実践の結果と考察[児童の変容]

(1)関心・意欲・態度について（ねらい(1)）

●「ハンドボールを取り入れてほしい」「取り入れてもよい」と考える児童がほとんどである。

●サッカー、バスケットボールよりも「すごくよかった」「少しよかった」と答えた児童が半数以上いた。

●よかった理由は、「得点が簡単に決められるから」が圧倒的に多かった。

●児童が特に楽しいのは自分がシュートを決めたときである。

●全体的に、自分にボールが来て活躍しているときは楽しいようだ。ボールが来るように指導したり、工夫が必要である。

●4つの練習とも楽しかったと感じている児童が多い。

●各練習で上手になったと自覚している児童が多い。ドリブルリレーではすごく上手になったと

自覚している児童が半数いる。

(2)判断・技能について（ねらい(2)(3)）

●第2時と第6時での練習を比べると、約半数の児童が少しパス、キャッチが上達した。

●全体的に、シュートは向上が著しかった。

●男子はジャンプシュートそのものに魅力を感じており、大変熱心に取り組んだ。

[ゲーム様相が発展した典型的事例の考察]

(ねらい(4))

●第6時では能力の高い者の単発シュートが消え、他の児童がシュートをうてるようになった。これはボールをもらう位置の変化とキャッチする力の変化による。

●作戦によるボールの集中が見られた。

●第6時では全員がシュートを達成したゲームがあった。これは女子が積極的にシュートができるようになったことにもよる。

(ねらい(5))

●第6時ではシュートにつながる位置取りやパスが多くなった。

●ボールを持っていない児童の動きがよくなった。

●第6時ではチームのシュート数が増えた。

(ねらい(6))

●第6時ではマークを決めて守るようになった。

●相手の速攻に対してディフェンスがもどって守るようになった。

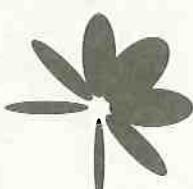
●ゴールキーパーがシュートをよくとめるようになった。

児童の感想文を読むと、ハンドボールを高く評価している児童が圧倒的多数である。

●「⑥教材化の工夫」で述べた事を取り入れ、6時間で左記のように組んでみた。

●各時間の45分間の流れである。なお、各時間とも、最初の5分間は準備体操、最後の3分間は全体で反省する時間である。

分→ 5 10 15 20 25 30 35 40 45

時	0〜5分	活動1	活動2	活動3	活動4	終末
1時	●準備体操 ●ランニング 体育館10周 ●ストレッチ 体育係	●ハンドボールについて知る ●チーム決め ●学習の道筋を知る	●パスキャッチ ●三角パス	●シュート練習 ●キーパーのみ	●ゲーム ●1チーム1ゲーム ●5分×2ゲーム	●反省
2時		●パスキャッチ ●三角パス ●ランパス	●シュート練習 ●キーパーのみ	●ゲーム ●1チーム1ゲーム ●7分×2ゲーム		
3時		●パスゲーム ●1チーム2ゲーム ●4分×2	●シュート練習 ●守り1人	●ゲーム ●1チーム1ゲーム ●7分×2ゲーム		
4時		●パスゲーム ●1チーム2ゲーム ●4分×2	●シュート練習 ●守り1人	●ゲーム ●1チーム1ゲーム ●7分×2ゲーム		
5時		●ドリブルリレー ●直線コース	●シュート練習 ●守り2人	●ゲーム ●1チーム2ゲーム ●5分×4ゲーム ●トーナメント(含 3決・決勝)		
6時		●ドリブルリレー ●一周コース	●シュート練習 ●守り2人	●ゲーム ●1チーム2ゲーム ●5分×4ゲーム ●トーナメント(含 3決・決勝)		

IHFヘッドレフェリーシンポジウム報告

審判委員会副審判委員長　斉藤　実
ルール研究委員会委員長　後藤　登

1997年IHFヘッドレフェリーシンポジウムは、6月13日から17日の5日間、オーストリーの首都ウィーン郊外の小さな町リンダブルンのカール・バック・スポーツシューレで行われた。

新しいIHF／PRCのメンバー、PRCレクチャラー、世界43ケ国ヘッドレフェリー等、88名が参加し、日本からは斉藤、後藤の2名が参加した。

▲**6月13日**

●午後からPRCメンバー・レクチャラー会議（斉藤出席）

アジアのパク氏が公務で欠席の外は全員出席。

●若手レフェリー育成についてのディスカッション

PRC委員長シュタインバッハ氏が、今最重点にしていることがこの若手育成であり、IHFの費用で各大陸から有望者を集め、教育したいという構想がある。しかし、クリアすべき事が非常に多く、時間がかかるとの事であり、それについてメンバーの意見を求めた。

●新ペーパーテストについて

我々レクチャラーに4月に課題が出され、過去のルール問題集の見直しと、各自新問題の10問作成と、その提出が求められていた。しかし、検討用の資料が整わず継続となる。

●熊本世界選手権のレフェリー用ビデオテープの作成について

●グループディスカッションへの提案

レクチャラーのウィリー・ハッケル氏より、最近のプレイで判断に迷うケースがあったので、グループディスカッションのテーマに取り上げてほしいとの提案があった。しかし、検討したグループは無かったようだ。

▲**6月14日**

●開会の挨拶　オーストリア協会会長ゲルハルト・ホフバウエル

●IHF会長挨拶　フランツ・ランク

●新PRCメンバー紹介

PRC委員長　キャルタン・シュタインバッハ（アイスランド）

PRC委員　ロジャー・ホネックス（ベルギー）、ヘルベルト・イエグリック（スロベニア）、ヤーニス・グリンベルガス（リトアニア）、ババカル・ヌドイ（セネガル）、マンフレッド・プラウゼ（ドイツ）、リスタル・アール（アメリカ）、チョン・ジョー・パク（韓国）

●冒頭基調講演

IHF／PRC委員長　キャルタン・シュタインバッハ

●各国の審判委員会の組織についての質問

IHF／PRC　ロジャー・ホネックス

●新レフェリー評価表の紹介

IHF／PRC　マンフレッド・プラウゼ

●熊本世界選手権の準備と評価

IHF／PRC　リスタル・アール

IHF／CCM　デートリッヒ・シュペート

●グループ・ディスカッション

▲**6月15日**

●パネル・ディスカッション

●ニュー・ルール

IHFレクチャラー　ウィリー・ハッケル

IHF／CCM　デートリッヒ・シュペート

●グループ・ディスカッション

●パネル・ディスカッション

▲**6月16日**

●評価観察の要求と目標

IHF／PRC　マンフレッド・プラウゼ

●フランスにおける若手レフェリーの養成

フィリッペ・レベック

●レフェリーの基本的なトレーニング

IHFレクチャラー　ウィリー・ハッケル

▲**6月17日**

●レフェリーの位置取りについて（実技）

IHF／PRC　ヤーニス・グリンベルガス

●CCMの観点からのレフェリートレーニング

IHF／CCM委員長　ハッサン・ムスターファ

●IHFトップレフェリーのスポーツ・メディカルテストの結果とアドバイス

IHF／MMC委員長　ハンス・ホルドハウス

●トップレフェリーの資格

デンマーク女子ナショナルチームトレーナー　ウリック・ビルベック

●最終パネル・ディスカッション

●クロージング・セレモニー

今シンポジウムでは、本年8月1日（日本では98年4月1日）よ

り施行されるニュールールについて、VTRや実技指導も交えて熱心に討議された。

PRCメンバーの交代により、過去の北欧色が一掃され、ドイツのマンフレッド・プラウゼ氏と、ウィリー・ハッケル氏が中心となり、運営されている印象を受けた。ルールの解釈についても、旧PRCとの違いが、若干ではあるが感じられた。

シンポジウムの詳細については、後に審判委員会より報告されるので、今回は、ニュールールの概略を報告する。

1、不正交替が起きたときのフリースローの場所（4の5）。

不正交替は、違反したプレイヤーが、サイドラインを越した場所から相手チームにフリースローが与えられるが、競技が中断したときに、相手チームに有利な地点にボールが有るときは、その有利な地点から、フリースローを行う。

2、キックボールの見直し（7の8）。

「ボールが、足、または、膝から下の部位に触れても、そのプレイヤーやチームが有利にならなければ、罰することはない」を条文から削除。

3、セービングはOK（7の9全文削除）

4、パッシブプレイの予告ジェスチャー（7の10）。

レフェリーは、パッシブプレイの判定をするときには、予告のジェスチャーを行う。

5、相手に対する動作の見直し（8の5）。

ボールを投げようとしたり、パスしようとしているプレイヤーの腕を、横、または後ろから叩いたり、引っ張ることや、結果的に、相手の頭や、首を殴るような行為は失格となる。又、走ったり、ジャンプしている相手を押したり、相手が身体のコントロールを失うような行為も失格となる。

6、スローオフは、センターラインを踏んで行う（10の3）。

スローオフは、コートの中央から、片足をセンターラインの上に置いて行わなければならない。スローオフの笛が吹かれた後、スロアーがボールを離す前に、自チームのプレイヤーが、センターラインに触れたり、踏み越したときには、相手チームのフリースローとなる。

7、得点したチームのプレイヤーが、自陣に残っていても、スローオフが出来る（10の4）。

得点の後のスローオフのときには、得点したチームのプレイヤーは、コートのどちらのサイドにいてもよい。

8、7mスローの判定をしたときには、レフェリーは、必ずタイムアウトをとる（14の2）。

9、チームタイムアウト（競技規則解釈の2）。

各チームは、正規の競技時間（延長戦を除く）の前後半に各1回ずつ、1分間のタイムアウトを請求することが出来る。

10、スポーツマンシップに反する行為の見直し（競技規則解釈9のj、k）。

防御側のプレイヤーが、繰り返し自陣のゴールエリアに入ったり、相手を不利にするために、必要以上にゆっくりとゴールエリアから戻ることや、いかにも相手が反則をしたように見せかけるプレイをすることは、スポーツマンシップに反する行為として罰せられる。

11、アドバンテージの徹底（競技規則解釈の13）

レフェリーは、攻撃側が不利になるときには、フリースロー（13の6）や7mスロー（14の10）の判定をしてはならない。レフェリーは、有利な状況（人数で勝っている、有利な位置取りにある）かどうかを即座に判断し、シュートが出来るように、笛を吹くことを待たなければならない。

今回のシンポジウムでは、ニュールールについて、多くの時間がさかれた。特に、スローオフの実施方法については、デモ・ゲームを行い披露されたが、中々スムーズに行えず、レフェリーに対する負担が増す印象であった。

今シンポジウムでも、トレーナーサイドとの協調が前面に出され、CCMの委員長ハッサン・ムスターファ氏は「CCMとPRCは、将来に向けて親密な良い関係を持ち続けている。レフェリーサイドの意見は、トレーナーサイドの意見であると確信している。我々は、同じフィールド、同じラインの上で仕事をしているのだ。両者がワンラインの上で仕事をしなければ、ハンドボールの発展は望めない」と述べていた。

PRCメンバーも、第8条（相手に対する動作）の見直しでは、トレーナーサイドとの共同作業により、条文が作られたと強調し、CCMとの連帯を印象付けた。

最後に、PRC委員長シュタインバッハ氏より、レフェリー・シンポジウムは今回が最後であり、次回（99年トルコで開催）からは、毎回、レフェリー・トレーナー・シンポジウムが開かれるとの報告があり、閉会となった。

IHFニュース

女子世界選手権
予選リーグ組分け

Aグループ		Bグループ	
AUT	オーストリア	NOR	ノルウェー
GER	ドイツ	CRO	クロアチア
POL	ポーランド	FRA	フランス
BRA	ブラジル	BLA	ベラルーシ
JPN	日本	CAN	カナダ
ANG	アンゴラ	UZB	ウズベキスタン

Cグループ		Dグループ	
KOR	韓国	DEN	デンマーク
ROM	ルーマニア	RUS	ロシア
HUN	ハンガリー	MKD	マケドニア
CIV	アイボリーコースト	CHN	中国
ALG	アルジェリア	CZE	チェコ
URU	ウルグアイ	SLO	スロベニア

●日本チームの対戦予定

11・30　対ドイツ　開幕戦　12・6　対アンゴラ
12・3　対オーストリア　12・7　対ポーランド
12・4　対ブラジル　12・9より決勝トーナメント

世界選抜チーム対デンマークナショナルチーム

8月3日(月)、ニュボルグでＩＨＦが指名した世界選抜チームとデンマークナショナルチームと試合を行う。この試合は、1897年に初めてニュボルグで行われたハンドボールの100周年を記念して開催される。

ＣＣＭ委員長のハッサン・ムスタファより、以下の世界選抜チームメンバーが指名された。過去ＩＨＦ51年の歴史のなかで、16回目を迎える。

世界選抜チームメンバー

No.	名前(国)	国際試合数	同得点
1	アンドレイ・ラフロフ（RUS）	177	1
16	ブラディミル・リベロ（CUB）	162	
2	アハメド・エルアッタール（EGY）	197	2200
3	ゴラン・ペルコパッツ（CRO）	77	218
4	イルファン・スマイラジッチ（CRO）	75	290
5	バルディマール・グリムソン（ISL）	223	740
6	ヨージェフ・エレーシュ（HUN）	143	
7	ゲリク・ケルバデック（FRA）	110	287
8	バレリィ・ゴーピン（RUS）	174	685
9	バジリィ・クジノフ（RUS）	141	543
10	タラント・ドイシェバエフ（ESP）	54	232
11	ドミトリィ・トロゴバノフ（RUS）	117	334
13	ユン・キョーシン（KOR）	108	241
14	パトリック・チャバル（CRO）	94	516

ＩＨＦ代表
オフィシャル　ハッサン・ムスタファ（EGY）
選手団長　フランク・ビルケフェルド（GER）
トレーナー　ユアンデオス・ローマンセコ（ESP）
　ジェーンミッチェル・ジェルマン（FRA）
レフェリー　マニフレッド・ビュロー（GER）
　ウィルフリード・ルブカー（GER）

1999年世界選手権大陸別配分決定する。

ＩＨＦ競技規則に従い、日本での世界選手権において次のエジプト大会の大陸別配分が発表になった。次の出場枠が決定した。

自動的に資格を与えられる国
　世界選手権チャンピオン　ロシア
　開催国　エジプト
日本での世界選手権の結果配分された出場枠
　ヨーロッパ（8）　アフリカ（1）　アジア（1）
アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ大陸にそれぞれ3つの出場枠
但し、これらの大陸の1つから1チームはオセアニアチャンピオンと出場資格
決定戦をしなければならない。

●　●　●

第15回男子世界選手権統計発表される

第15回男子世界選手権大会の以下の内容の結果と統計が発表された。

ベストスコアラー
　7月号参考

チームシュート成功率

1	ロシア	74.0%
2	アイスランド	66.7%
3	スウェーデン	66.1%
3	スペイン	66.1%
5	ハンガリー	65.9%
6	フランス	60.8%
7	エジプト	59.8%
8	韓国	59.3%

個人シュート成功率
（少なくとも7試合以上出場、シュート25本以上）

1	スペインソン（ISL）	87.5%
2	トロゴバノフ（RUS）	85.7%
3	ビヤルナソン（ISL）	80.0%
4	ポゴレーロフ（RUS）	78.0%
5	ケルバデッグ（FRA）	77.8%
6	グヤーシュ（HUN）	76.9%
7	エスケル（ESP）	76.0%
8	トールソン（SWE）	75.0%
9	エーレシュ（HUN）	74.7%
10	クジノフ（RUS）	74.1%

アシスト

1	S・オルソン（SWE）	46
2	ドイシェバエフ（ESP）	42
3	ステファンソン（ISL）	41
4	クジノフ（RUS）	37
5	ロブグレン（SWE）	35
5	ソルベルグ（NOR）	35
7	マシップ（ESP）	32
8	リシャーソン（FRA）	30
9	ポゴレーロフ（RUS）	28
10	ビスランデル（SWE）	24
	エーレシュ（HUN）	24
	レイナルド（CUB）	24

誌上審判講習会

審判委員長　大塚　文雄
審判審査指導委員長　加藤　雅之

段階的罰則適用について

熊本世界選手権大会のおり開催されましたJHAコーチ・レフェリー・シンポジウムにおきましてスタインバッハIHF／PRC委員長の講演の中で段階的罰則の適用の仕方について、JHA審判委員会の指導とIHFの見解に相違のあることが判明致しました。

この相違について簡単に説明致しますと、

質問者「日本では同一チームに対し、同一罰則（例：プッシング）による警告は1回のみしか出せない。とされているが、このような罰則の適用の仕方で良いか？」

回答者（スタインバッハIHF／PRC委員長）

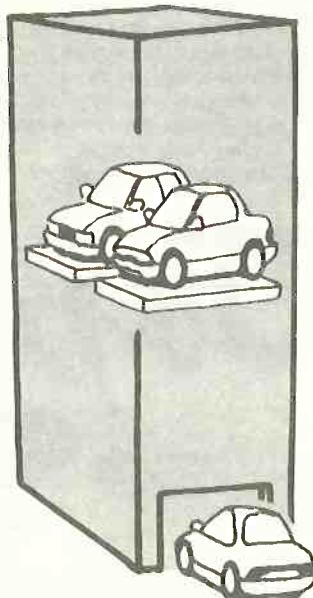
「同一チームで同一罰則であっても、プレーヤーが違えば警告は出せる。例えばAチームの2番がプッシングで警告された後、Aチームの3番がプッシングを犯せば、これに警告を与えることが出来る。」

と、回答した。この事について今回受講された方々から若干のとまどいが出ておりますので、この件についてJHA審判委員会がどのように対処するのか見解を述べたいと思います。

まず、結論から申し上げますと、「平成9年度シーズンは現在JHA審判委員会の指導（同一チームに対し同一罰則による警告は1回）で、実施をお願い致します。」

理由

IHF／PRCの指導者が変われば、ハンドボールに対する考え方も変わってくるのは当然のことで、段階罰適用の考え方もエリアス・ボルスタットを中心とした北欧型から、スタインバッハになり、ドイツを中心とした南欧型になりつつあると推測され、熊本世界選手権大会時には特に、プラウゼIHF／PRC委員（ドイツ）が、この考え方を強調していたようです。

私ども、JHA審判委員会と致しましても、この問題を重視し、6月中旬にオーストリーで開催されました「IHF・ヘッド・レフェリー・シンポジウム」に斉藤実審判委員会副委員長・後藤登ルール研究委員長を派遣し、確認致しましたがスタインバッハIHF／PRC委員長は前回同様の見解を示しましたが、北欧の審判長諸氏は日本と同じ見解を表明したといいます。従ってIHFとしましても段階的罰則適用の与え方について、統一してどうするという所まで至っていない状況ですが、JHA審判委員会と致しまして早急に世界の流れを把握し、対処すべく研究致しておりますので、本年度シーズンは無用の混乱を招かないためにも、現行通り「同一チームに対し同一罰則（例：プッシング）による警告は1回のみしか出せない。そのイエローカードはチームのプレーヤー全員に示したことになる。」との見解でのぞんでいただきたくお願い致します。

フレンドシップ'97 御協賛ありがとうございました

昨年より始めてまいりました世界選手権のためのフレンドシップ'97は、御協賛者総数１０８０名を持って終了いたしました。皆様の暖かいご支援で、世界選手権大会も大成功裡に終了いたしました。

皆様から頂いたご厚志は、ナショナルチーム支援金、フェスティバル大会支援、ワールドドリームゲーム支援、全国広報対策費として使用させていただきました。日本ナショナルチームの活躍は大会成功の一要因となっておりますが、これも皆様のご支援の気持ちが通じたものと喜んでいる次第であります。

日本ナショナルチームは、さらにシドニーへ向け新たな出発を致します。日本協会としては、そのための新たな財源作りにも着手しております。今回の世界選手権大会で見せた盛り上がりを継続し、今後へつなげるためにも、賛助会活動も活発にしていきたいと考えております。

今回御協賛いただいた従来の賛助会会員以外の方々には、改めて賛助会のご案内を差し上げることになっておりますので、その節にはご協力をよろしくお願いいたします。

ここに厚く御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

フレンドシップ'97収支決算

（単位：千円）

収入		支出	
フレンドシップ'97 1,080名	12,742	フレンドシップ'97募集経費 印刷・通信・事務	1,067
		フレンドシップ'97謝礼経費 テレホンカード 大会特集号購入費	1,700 1,275
		ナショナルチーム支援金 激励会・解団式・記念品	3,700
		フェスティバル大会(熊本) ワールドドリームゲーム(東京) 補助金	3,000
		全国広報対策費　　補助金	2,000
計	12,742	計	12,742

平成9年度　全日本大会審判団

平成９年６月２７日現在　審判委員会

大会名	開催地	期日	審判員名
第３８回　男子 全日本実業団	名古屋	5/1 -4	◎喜井　美雄　○板倉　孝雄　楓　健児・渡辺　貞彦（指名）　秋山　幸生・丸山　竜司（三重）　内藤　岳・清水　保雄（静岡） 川地　桂一・名倉　昭弘（岐阜）　河合　竜二・松原　英司（愛知）　木和田浩史・河合　千丈（愛知）　足立　智司・浜田　尚人（愛知）
第３８回　女子 全日本実業団	守口市	5/2 -5	◎村上　潔　○北山　隆　藤井　俊朗・大熨　嘉彦（指名）　浅井　隆志・岸本　光夫（大阪）　吉田　敏明・吉田　正明（大阪兵庫） 長野　一彦・坂本　詔一（実連）　船谷　真和（実連）　田中　秀和・山崎　彰（実連）
第４８回 全国高校総体	京田辺 八幡市	8/2 -7	◎市瀬　公敬　○勝本　章裕　○中森　雅彦　○大羽　隆夫　仲田　稔・植村　彰（指名）　大橋　幹正・俵　英生（北海） 工藤　里花・外舘由美子（岩手）　小沼　慶二・鈴木　琢磨（福島）　小林　一夫・土屋　雅男（埼玉）　北中　弘規・山口　和博（石川） 石川　直樹・若林　賢吾（静岡）　馬場　保夫・浜田　浩嗣（兵庫）　伊藤　保一・尾崎　浩洋（大阪）　田中　秀和・山崎　彰（和歌） 位田　敏夫・伊藤　公英（滋賀）　小林　弘和・金丸　雅美（奈良）　佐久間良幸・西田　充（京都）　中村　昌人・加藤　英二（京都） 原井　進・角　直樹（山口）　浜田　浩之・森口　裕次（徳島）　上濱　清司・泉谷　俊郎（香川）　浦川　寿生・石崎　章弘（長崎）
第４０回 全日本教職員	名古屋	8/6 -9	◎島崎　政治　○板倉　孝雄　中山　光広・田中　宏育（富山）　小口　正則・小山　英人（長野）　宇尾野　章・神谷　斎（三重） 内藤　岳・清水　保雄（静岡）　川合　常雄・高森　賢（岐阜）　川地　桂一・名倉　昭弘（岐阜）　有我　勝典・杉浦　孝（愛知） 足立　智司・濱田　尚人（愛知）　木和田浩史・河合　千丈（愛知）　中野　正彦・永田　裕孝（愛知）　楓　健児・浅野　幹哉（愛知）
第２回 ジャパン・オープン・トーナメ （国体リハーサル）	横浜市 川崎市	8/7 -11	◎大塚　文雄　○上久保重次　○松本　宏　佐藤　睦雄・大沢　由和（指名）　武智　誠治・松原　誠起（指名） 小林　一夫・土屋　雅男（指名）　仲田　稔・植村　彰（指名）　松崎　雅芳・小野寺明彦（北海）　田川　卓史・斎藤　仁宏（福島） 我孫子　功・高橋　善浩（山形）　小西　正寿・大出　治男（栃木）　山本　興道・菅田　信也（東京）　岡田　茂・新井　喜人（群馬） 白坂　篤哉・菅野　俊雄（神奈）　松川　純史・木村　奨（神奈）　吉岡　寛之・滝口　真聖（神奈）　堀越鉄太郎・山田　啓太（神奈） 黒沢　貞夫・安井　定徳（神奈）
第２６回 全国中学校大会	高知 春野市	8/22 -25	◎浜野　大助　○成岡　浩　斎藤　仁宏・佐藤　成紀（福島）　赤木　利輔・三宅　秀明（岡山）　西田　恵介・内藤　健（岡山） 福岡　篤紀・万代　和孝（広島）　岡村　尚明・白川　裕隆（山口）　高橋　卓也・清水　修（高知）　多田　宣行・杉山　孝広（香川） 松原　誠起・竹内　強（愛媛）
第５２回 なみはや国体	堺　市 高石市	10/26 -30	◎大塚　文雄　○北山　隆　○福井　孝明　後藤　登・清水　宣司（指名）　森山　正治・新荘　悌男（指名） 藤井　善彦・竹野　誠司（福井）　川地　桂一・名倉　昭弘（岐阜）　馬場　保夫・濱田　浩嗣（兵庫）　前川　和三・秋永　昭治（滋賀） 佐川　正巳・矢野　勝弘（奈良）　小山　勉・佐路　清隆（京都）　佐谷　光一・村尾　亮（大阪）　浅井　隆志・岸本　光夫（大阪） 吉田　敏明・家永　昌樹（大阪）　伊藤　保仁・尾崎　浩洋（大阪）　寺内　啓之・（大阪）　中山　学・山本　圭司（岡山） 高　俊文・奥川　和永（広島）　定岡　孝明・東福　康浩（愛媛）　中川　俊彦・岡本　憲和（高知）　龍　弘美・貞島　早苗（佐賀） 堀越鉄太郎・山田　啓太（神奈）
第４０回 全日本学生	川崎市	11/12 -16	◎佐野　和夫　○青木　宏治　家永　昌樹・大熨　嘉彦（指名）　細井　義彦・遠藤　秀之（神奈）　中村　勝彦・斎藤　史洋（神奈） 五反田　淳・江成　浩二（神奈）　伊藤　徳之・大橋　幹正（北海）　浜野　大助・阿部羅大造（北信）　奥山　精一・片山　欣章（中国）
第４９回　男子 全日本総合	東　京	12/4 -7	◎大塚　文雄　○斎藤　実　○上久保重次　後藤　登・清水　宣司（東京千葉）　仲田　稔・植村　彰（千葉） 森山　正治・新荘　悌男（福岡）　小林　一夫・土屋　雅男（埼玉）　佐藤　睦朗・大沢　由和（岩手）補
第４９回　女子 全日本総合	神戸市	12/20 -23	◎大塚　文雄　○岡本　研二　○北山　隆　浜田　浩和・小笠原久郎（東京）　武智　誠治・松原　誠起（愛媛） 阿部羅大造・浜野　大助（石川）　藤井　俊朗・大熨　嘉彦（岡山）　馬場　保夫・浜田　浩嗣（兵庫）補
第６回 JOCカップ ジュニア・オリンピック	堺　市	12/26 -27	◎浜野　大助　○北山　隆　○福井　孝明　後藤　登・清水　宣司（指名）　塩川　亮広・清水健太郎（長野） 近藤　喜夫・三谷　雅人（三重）　松森三樹男・西園　友秀（兵庫）　吉田　正明・岡部　清和（兵庫）　鈴木　慎二・鳥羽　勇（東京大阪） 吉田　敏明・寺内　啓之（大阪）　梅田　淳夫・横山　和哉（和歌）　武田　憲樹・橋山登志一（滋賀）　奥田　政俊・丸谷　謙二（奈良） 小山　勉・佐路　清隆（京都）
第２９回 実業団チャレン	千　葉	2/6 -8	◎喜井　美雄　○上久保重次　○釜谷　泉　仲田　稔・植村　彰（指名）
第２１回 全国高校選抜	名古屋	3/24 -28	◎市瀬　公敬　○秋山　幸生　○渡辺　貞彦　森山　正治・新荘　悌男（指名）　渡辺　邦夫・村瀬　清史（北海） 中舘　豊・多田　和生（岩手）　小尾　美雄・新谷　幸司（山梨）　大石　克哉・桜打　佳浩（富山）　中村　明裕・田村　裕志（石川） 丸山　竜司・夏目　真治（三重）　内藤　岳・片山　聡（静岡）　川地　桂一・名倉　昭弘（岐阜）　浅野　幹也・神谷　真次（愛知） 岩橋　源次・根来　英介（愛知）　千野　正彦・坪井　雅典（愛知）　木和田浩史・河合　千丈（愛知）　高原　浩徳・佐々木昌弘（大阪） 加藤　晃・田原　和[illegible]（山口）　佐藤　公美・曾根　哲司（徳島）

●1997年熊本世界ハンドボール選手権パーフェクトビデオ

超人たちの躍動80試合を完全収録

全世界にテレビ放映された熊本世界選手権の熱戦80試合を完全ビデオ収録しました。4パターンのシリーズを用意。ロシアースウェーデンの決勝戦はもとより、歴史に残る名勝負といわれたロシアーフランス戦、国内中のファンがー喜一憂したフランスー日本戦など好ゲームが目白押しです。この機会に〝超人〞たちの躍動を1人占めにして下さい。

各種シリーズ	内　容	セット価格
A：がんばれニッポンシリーズ	健闘の日本を中心とした10試合セット	10本セット50,000円
B：興奮クライマックスシリーズ	決勝、準決勝の激闘など終盤の10試合	10本セット50,000円
C：熱戦パーフェクトシリーズ	〝これは〞という熱戦を厳選した豪華版	15本セット75,000円
D：お好みチョイス	大会80試合すべてのリクエストに対応	1本につき 5,500円

※上記に消費税、送料は含みません

お求めは
日本ハンドボール協会
及び
スポーツイベントまで

KEIRIN

このビデオの製作にあたっては「競輪公益基金」の補助を受けました。

●配給元/財団法人日本ハンドボール協会
TEL03-3481-2361・FAX03-3481-2367

●発売元/株式会社スポーツイベント
TEL03-3294-5231・FAX03-5259-7339

世界のスーパープレーを1人占め！

品番	カード	
WM①	予選リーグA	○アイスランド 24―20 日本●
②	〃	○リトアニア 27―18 サウジアラビア●
③	〃	○ユーゴスラビア 22―19 日本●
④	〃	○アルジェリア 27―27 アイスランド●
⑤	予選リーグB	○フランス 25―21 イタリア●
⑥	〃	△韓国 21―21 ノルウェー△
⑦	〃	○スウェーデン 36―17 アルゼンチン●
⑧	予選リーグC	○ポルトガル 26―18 ブラジル●
⑨	〃	○エジプト 24―22 チェコ●
⑩	〃	○スペイン 32―21 チュニジア●
⑪	予選リーグD	○ロシア 31―17 キューバ●
⑫	〃	○クロアチア 34―21 中国●
⑬	〃	○ハンガリー 25―19 モロッコ●
⑭	予選リーグA	○ユーゴスラビア 29―21 リトアニア●
⑮	〃	○アルジェリア 19―14 サウジアラビア●
⑯	予選リーグD	○ロシア 34―15 中国●
⑰	〃	○クロアチア 26―17 モロッコ●
⑱	予選リーグB	○韓国 27―26 フランス●
⑲	〃	○スウェーデン 24―17 ノルウェー●
⑳	予選リーグC	○チェコ 24―10 ブラジル●
㉑	〃	△エジプト 19―19 スペイン△
㉒	予選リーグA	○日本 23―20 サウジアラビア●
㉓	予選リーグB	△イタリア 19―19 ノルウェー●
㉔	〃	○フランス 24―20 アルゼンチン●
㉕	予選リーグC	○チュニジア 19―18 ポルトガル●
㉖	〃	○スペイン 32―11 ブラジル●
㉗	予選リーグD	○ロシア 30―13 モロッコ●
㉘	〃	○ハンガリー 22―21 キューバ●
㉙	予選リーグA	△リトアニア 19―19 アルジェリア△
㉚	〃	○アイスランド 27―18 ユーゴスラビア●
㉛	予選リーグB	○イタリア 21―15 アルゼンチン●
㉜	〃	○スウェーデン 36―21 韓国●
㉝	予選リーグC	○エジプト 24―17 チュニジア●
㉞	〃	○チェコ 28―24 ポルトガル●
㉟	予選リーグD	○キューバ 32―21 中国●
㊱	〃	○ハンガリー 23―20 クロアチア●
㊲	予選リーグA	○ユーゴスラビア 32―20 サウジアラビア●
㊳	〃	○日本 24―14 アルジェリア●
㊴	〃	○アイスランド 21―19 リトアニア●
㊵	予選リーグB	○韓国 32―22 アルゼンチン●
WM㊶	〃	○フランス 23―20 ノルウェー●
㊷	〃	○スウェーデン 19―17 イタリア●
㊸	予選リーグC	○エジプト 33―11 ブラジル●
㊹	〃	○チェコ 19―18 チュニジア●
㊺	〃	○スペイン 29―26 ポルトガル●
㊻	予選リーグD	○中国 25―21 モロッコ●
㊼	〃	△クロアチア 23―23 キューバ△
㊽	〃	○ロシア 24―19 ハンガリー●
㊾	予選リーグA	○アイスランド 25―22 サウジアラビア●
㊿	〃	○リトアニア 24―15 日本●
(51)	〃	○ユーゴスラビア 28―24 アルジェリア●
(52)	予選リーグB	○韓国 27―22 イタリア●
(53)	〃	○ノルウェー 27―22 アルゼンチン●
(54)	〃	○フランス 29―26 スウェーデン●
(55)	予選リーグC	○チュニジア 17―15 ブラジル●
(56)	〃	○エジプト 29―25 ポルトガル●
(57)	〃	○スペイン 29―26 チェコ●
(58)	予選リーグD	○キューバ 35―20 モロッコ●
(59)	〃	○ハンガリー 39―19 中国●
(60)	〃	○ロシア 31―20 クロアチア●
(61)	決勝トーナメント	○アイスランド 32―28 ノルウェー●
(62)	〃	○韓国 37―33 ユーゴスラビア●
(63)	〃	○スウェーデン 32―20 リトアニア●
(64)	〃	○フランス 22―21 日本●
(65)	〃	○スペイン 31―25 クロアチア●
(66)	〃	○エジプト 24―20 キューバ●
(67)	〃	○ハンガリー 20―19 チェコ●
(68)	〃	○ロシア 20―14 チュニジア●
(69)	準々決勝	○ハンガリー 26―25 アイスランド●
(70)	〃	○ロシア 32―15 韓国●
(71)	〃	○スウェーデン 28―24 スペイン●
(72)	〃	○フランス 22―19 エジプト●
(73)	順位決定予備戦	○アイスランド 32―23 スペイン●
(74)	〃	○エジプト 28―27 韓国●
(75)	5―6位決定戦	○アイスランド 23―20 エジプト●
(76)	準決勝	○スウェーデン 31―19 ハンガリー●
(77)	7―8位決定戦	○スペイン 33―26 韓国●
(78)	準決勝	○ロシア 25―24 フランス●
(79)	3―4位決定戦	○フランス 28―27 ハンガリー●
(80)	決勝戦	○ロシア 23―21 スウェーデン●

このシリーズはNHKが全世界に向けて制作したテレビ映像をビデオ化したもので、10台のカメラを駆使して撮影され、シュートシーンなど好プレーのスロービデオもふんだんに盛り込まれています。

シリーズ	内容	品番	価格（税別）
A：がんばれニッポン！	健闘日本を中心にセレクト	①③㉒㊳㊿(64)(71)(74)(78)(80)	10本セット＝50,000円
B：興奮クライマックス	終盤の激戦をピックアップ	(62)(64)(66)(67)(69)(71)(72)(78)(79)(80)	10本セット＝50,000円
C：熱戦パーフェクト	絶対におすすめの豪華版！	④⑱㉑㉕㊱㊼(54)(62)(64)(65)(67)(69)(71)(78)(80)	15本セット＝75,000円
D：お好みチョイス	大会80ゲームのすべてのリクエストに対応します！		1本につき5,500円

※送料は何巻でも500円です

■支払方法／現金書留、郵便振替または銀行振り込みによる前払いです（宅急便・着払いもあり）。
■分割払い／信販会社を通じての分割払いやボーナス時一括払いも受け付けています。

●お申し込みは下記の申し込み用紙をコピーの上、日本ハンドボール協会（FAX03-3481-2367・TEL03-3481-2361）またはスポーツイベント（FAX03-5259-7339・TEL03-3294-5231）までFAXでお送り下さい。シリーズにチョイス（1本につき5500円プラス）を加えることも可能。電話でも受け付けています。すべてのお問い合わせはスポーツイベントが承ります。

◆世界選手権ビデオ発売元／㈱スポーツイベント　〒101 東京都千代田区神田小川町1―9　川上ビル3階
TEL03-3294-5231（代）／FAX03-5259-7339／郵便振替・00140-5-11951

世界選手権ビデオ申し込み書

ご住所：〒

お名前：

ご自宅電話番号：

連絡先電話番号：

職　業：

年　令：

（シリーズ名を明記して下さい）　シリーズを（代金　　円）購入します。

（品番を明記して下さい）　をチョイスで（代金　　円）購入します。

合計　　円

求職

（６月16日付ファックス）
Mr. Milorad Reljic
住　所　Giessener Strasse 6
D-64646 Heppenheim
Germany
Tel/Fax49-6252-787369
20年間ドイツにて１部のトレーナーをやって来た。
◎ドイツの第一級トレーナー（ライセンス所有）
◎スポーツ教師の資格あり
◎TSV-Bayer-04-Leverknsenのトレーナー
（ドイツで12回のチャンピオン。８回の選手権優勝）
ヨーロッパカップで準優勝迄行った。
◎TV-Zofingen（スイスでのチャンピオン。ヨーロッパカップで準々優勝）のトレーナー
◎日本のクラブ（実業団）チームまたは、ナショナルチームをトレーニングしたい。また、日本のハンドボール発展に寄与したい。大学または、学校の体育教師としても働きたい

６月14日郵便にて受領
Mr.Mauricio J Javier Mata Parajon
私は自国スペインの最高ディビジョンでのプレイヤーであり、スペイン代表プレイヤーでもありました。その後はアストゥリアス(Asturia)地区のクラブチームCOMEDIAのコーチとして、幼年からジュニア、シニアまでの全クラスの指導にあたってきました。
Royal Handball Federation of Asturiasの理事を１期４年つとめ、その間全国からナショナルチームプレイヤーの発掘にあたりました。また、当時Mr.Doming Barcenasが会長をつとめていたスペインハンドボール協会との連絡の任にもあたっておりました。
私の希望条件は当初最低年棒＄95,000(税引き後ネット)、期間４年とし、事前に合意した目標を達成した場合には増額していただくというものです。私は結果について全面的に責任を負いますので、コーチングについては全権の委任と、貴協会の全面的なご支援・ご協力を与えて頂きたく存じます。目標が達成できなかった場合は契約の取り消しに同意いたします。

Mr.Derek Brown
1970.8.4生
米国ナショナルプレイヤー
ライトウング／ライトバック
Mr.Darrick Heath
1964.12.10生
米国ナショナルプレイヤー
レフトバック／センターバック

出来れば上記２名一緒にプレーしたい。
連絡先ファックス1-770-956-7976
詳細は日本協会にもあります。

Mr.Stephan Razafintsalama
住　所　7.Place Salvador Allende Appt 510
94000 Creteil,France
国　籍　フランス
生年月日　1976年７月16日
身　長　182cm
体　重　78キロ
フランス１部のチームUS Creteilでプレーしていた。
詳細は協会に問い合わせして下さい。

CONTENTS　9月号

９月の行事予定

競技関係　日本リーグ前期開幕　９／20－11／24
会　議　常務理事会　９／20

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-AD　¥4,600
検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD　¥4,500
検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

ホワイト／ブラック

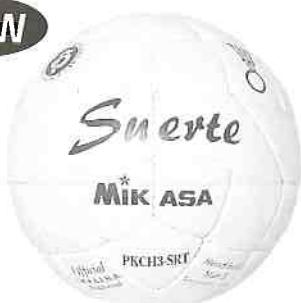
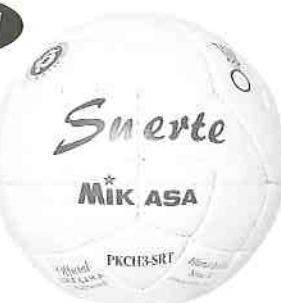
ホワイト／ブルー

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-BS　¥4,000
検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS　¥3,800
検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

NEW

PKCH3-SRT　¥5,600
検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT　¥5,500
検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR　¥2,800
練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社／〒733　広島市西区楠木町3丁目11-2　TEL082（237）5145
東京営業所／〒111　東京都台東区松が谷1丁目5-14　TEL03（3843）4671
大阪営業所／〒543　大阪市天王寺区東高津町1-6　TEL06（761）8441
大阪物流センター／〒577　東大阪市西堤本通東3-4　TEL06（781）4845
広島営業所／〒733　広島市西区楠木町3丁目11-2　TEL082（237）4772
名古屋営業所／〒460　名古屋市中区千代田2丁目24-8　TEL052（251）2381
福岡営業所／〒812　福岡市博多区東比恵4丁目12-9　TEL092（431）6950
仙台営業所／〒984　仙台市若林区卸町東4丁目1-8　TEL022（288）2361

(財)日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』第三七八号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成九年八月二十六日　印刷
平成九年九月一日　発行
東京都[illegible]谷区神南一－一－一
電話　代表　三四八一－二三六一
振替　〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人　中澤重夫
価格は登録金に含む